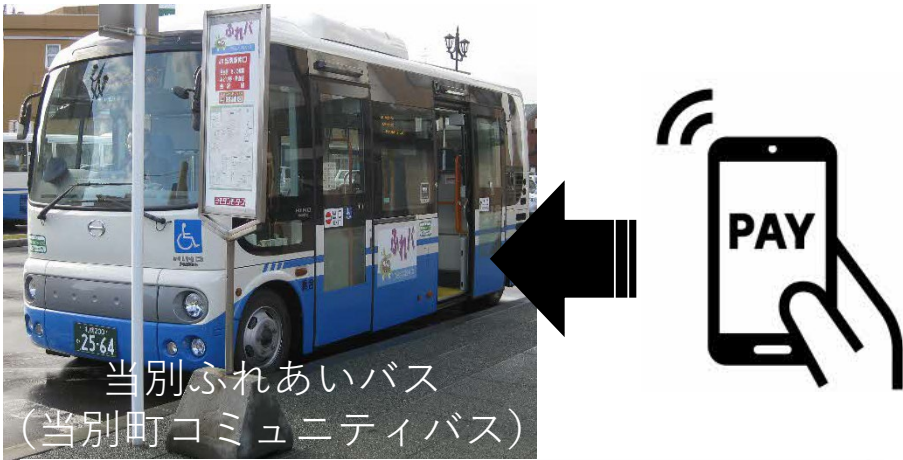
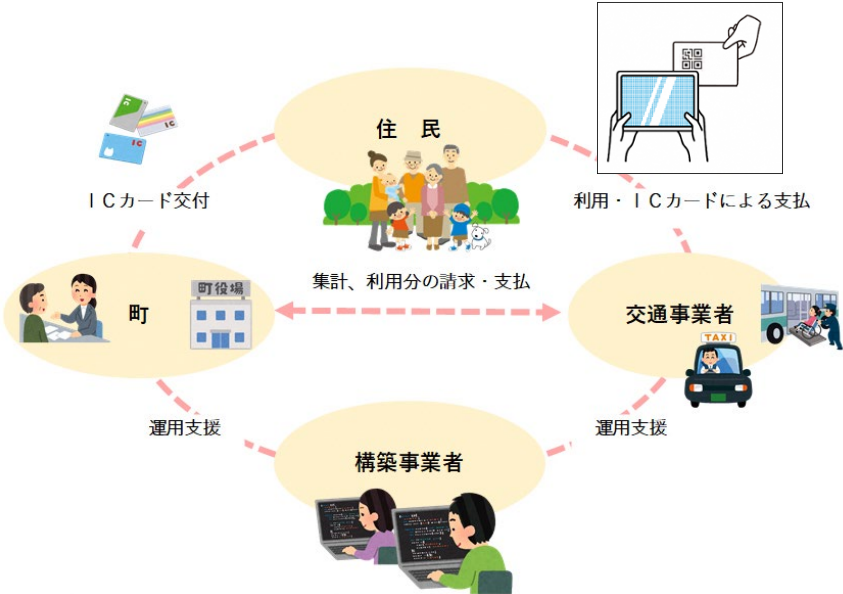


事業概要【当別ふれあいバスキャッシュレス決済導入事業】

自治体名	北海道当別町	人口	15,316人	事業費	574千円
事業概要	当別町内で運行しているコミュニティバス「当別ふれあいバス」では、運賃の支払いは現金のみとなっており、デジタル化社会である現代において、利便性が低下している。また、乗務員の負担にもなっており、持続可能な公共交通を目指すにあたり、キャッシュレス決済を導入することで、サービスの高度化や利便性向上、効率的な運行を実現する。				
具体サービス	当別ふれあいバス（当別町コミュニティバス）へのキャッシュレス決済の導入 ・各種QR決済機能 ・ポイント機能 【導入予定のバスの台数】 8台		 当別ふれあいバス （当別町コミュニティバス） 		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①キャッシュレス決済利用率		【アウトカム指標（成果指標）】 ①当別ふれあいバスの利用者数 ②当別ふれあいバスの利用満足度		

事業概要【バス・タクシー利用助成券電子化事業】

自治体名	北海道共和町	人口	5,439人	事業費	29,105千円
事業概要	地域経済デジタル基盤構築とデジタル地域通貨の導入により、バスタクシー利用助成券を電子化。電子化後、利用者は助成券利用の簡素化や円単位で利用できることに伴い利便性が向上。 また、リアルタイムで利用状況データの収集・集計が可能となり、確認・支払作業の効率化・迅速化が図られる。 将来的には行政窓口サービスや他事業との連動によりキャッシュレス化の推進や地域活性化に寄与する。				
具体サービス	【デジタル地域通貨キャッシュレス決済システム】 - 公共交通料金支払でのデジタル決済 - デジタル化による利用状況等のデータ収集の効率化				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① QRカード交付者数 ② QRカード利用者数 ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ① 公共交通でのデジタル地域通貨消費額 ② QRカード利用満足度 ③		

事業概要【公共交通キャッシュレス決済サービス導入整備事業】

自治体名	北海道岩内町	人口	11,097人	事業費	6,662千円
事業概要	町が運行しているコミュニティバス「ノッタライン」と「円山地域乗合タクシー」について、キャッシュレス決済を可能にするシステムを導入し、利用者の利便性向上を図る。 決済はスマートフォンアプリのQRコードだけでなく、ID連携により地域で活用されているICカード（WAON、CoGCa、nanaco等）を決済に利用できるようにすることで、取扱いを簡易にし高齢者等の利便性向上を目指す。				
具体サービス	【公共交通キャッシュレス決済サービス(ノッタライン)】 - スマートフォン専用アプリにより、対応するクレジット決済やバーコード決済からチャージを行い、運賃支払時に画面表示されたQRコードを車載端末にかざしキャッシュレス決済。 - 当該アプリと各種ICカードのIDを紐づけることで、ICカードを用いた決済を行うことが可能。スマートフォンでのQR決済より取扱いが簡易となることで、更なる利便性向上も図られる。 - 運転手側のオペレーション負担が増えることに伴い定時運行が難しくなるなど住民利便性の低下に繋がるデメリットを解消するため、乗降カメラセンサーを導入し乗降数把握の自動化を図り、総合的な住民利便性向上を図る。 【公共交通キャッシュレス決済サービス(円山地域乗合タクシー)】 - スマートフォン専用アプリにより、対応するクレジット決済やバーコード決済からチャージを行い、運賃支払時に画面表示されたQRコードを決済端末にかざしキャッシュレス決済。 - 当該アプリと各種ICカードのIDを紐づけることで、ICカードを用いた決済を行うことが可能。スマートフォンでのQR決済より取扱いが簡易となることで、更なる利便性向上も図られる。		 専用アプリとICカードの連携 専用アプリ ICカード連携 コミュニティバス タクシー QRスキャナーで決済 Android端末で決済		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①ノッタライン・キャッシュレスの利用率 ②円山地域乗合タクシー・キャッシュレスの利用率		【アウトカム指標（成果指標）】 ①ノッタライン・利用者の満足度 ②円山地域乗合タクシー・利用者の満足度		

事業概要【デマンドバスオンライン予約・運行管理サービス導入事業】

自治体名	北海道中頓別町	人口	1,517人	事業費	616千円
事業概要	本地域を運行している町営の公共交通機関であるデマンドバス（中頓別浜頓別線）は、予約に応じて定められた路線を運行する形態であり、現在の予約方法は受付時間を限定した電話受付のみとしている。 予約・運行管理システムを導入することで、利用者が24時間365日いつでもオンラインで簡単に予約できるようになるとともに、限られた人員と資源を有効活用した運営を行うことができるようになる。				
具体サービス	【オンライン予約・運行管理サービス】 利用者 ・ スマホ・PCからいつでも希望の日時の便に乗降場所を指定して予約できる機能 ・ 予約状況一覧の確認機能 運行管理者・運転手 ・ 運転手が予約状況を確認できる機能 ・ 電話受付分も含めた予約一元管理機能 ・ 予約の統計表示機能 <pre> graph LR User[スマホ・PC] --> System[予約管理システム] System <--> Counter[電話受付窓口] Counter <--> Phone[電話] </pre>				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 オンライン予約サービス利用者数（年間延べ）700人 【アウトカム指標（成果指標）】 デマンドバス利用者数（年間延べ） 1,400人				

事業概要【AIデマンド交通運行事業】

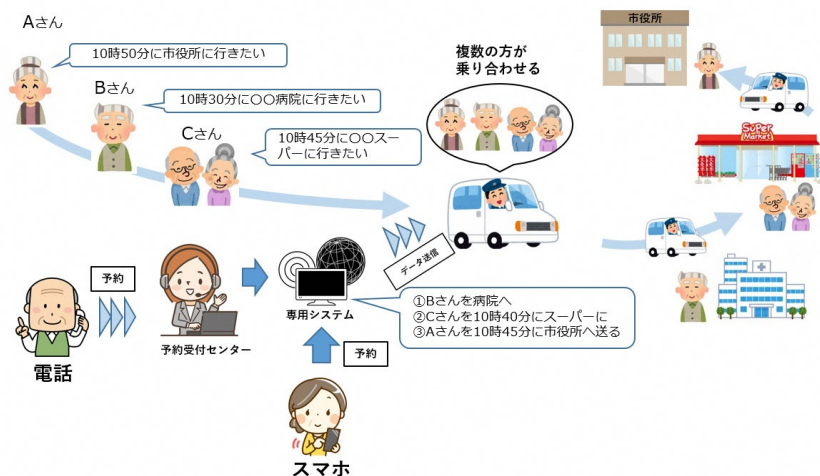
自治体名	青森県青森市	人口	(住基12/1) 267,794人	事業費	54,843千円
事業概要	青森市浪岡地区（旧浪岡町）において、AIデマンド交通（ドアツードア型）を運行し、大きな地域課題である持続可能で利便性・生産性の高い交通弱者の足を確保するとともに、その他の地域課題である地域ビジネスや地元事業者の雇用拡大、経済的に持続可能な事業の追求、デジタル化による利便性向上、地域病院の利用促進、高齢者福祉、こどもの活動支援（子育て負担軽減）の解決を図る。				
具体サービス	【AIデマンド交通（ドアツードア型）の運行】 - 利用したい方の予約（webや電話）による乗合自動車の運行 - 配車予約に応じたAIによるルート作成 - 乗合自動車のキャッシュレス決済の導入 - 持続可能な公共交通ネットワーク整備 - 住民利便性向上 浪岡AIデマンド交通イメージ 				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AIデマンド交通の利用者数 ②福祉乗車証の交付枚数 ③--- 【アウトカム指標（成果指標）】 ①AIデマンド交通利用者満足度 ②市民意識調査（浪岡地区の住みやすさ） ③---				

事業概要 【 AIデマンド配車システムを活用した市街地デマンド交通導入事業】

自治体名	青森県平川市	人口	29,750人	事業費	43,467千円
事業概要	自家用自動車への依存の高まりや人口減少が進む中、バス利用者が減少し、行政の財政負担の増加や交通事業者の乗務員不足等による路線バスの減便・廃止等が進んでいる。これらを解消するため、これまでの定時定路線のバス運行を見直し、AI技術を活用したデマンド予約システムを導入することにより、より最適で誰もが利用したくなる地域公共交通の実現を図り、運転免許がなくても安心して出かけられる、住み続けられる持続可能な地域社会の実現を目指す。				
具体サービス	【AIデマンド配車システム】 利用者はスマートフォンアプリ又は電話（オペレーターによる代理予約）を利用し、サービス事業者が提供するクラウドシステムにアクセスする。 次に出発地と到着地の停留所を選択し、希望出発又は到着の希望時刻を入力するとシステムがバスの予約状況を確認し、希望に近い運行時間を提示する。 利用を希望する場合はそのまま配車予約を行う事ができる。 配車予約は利用の1時間～20分程度前までとし、運行ルートはAI技術の活用によりシステムが最適なルートを運転手に提示し運行を行う。 デマンド配車システム運行概要イメージ				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①デマンド交通年間利用者数 ②LINEによる予約率 【アウトカム指標（成果指標）】 ①AIデマンド交通の利用者満足度 ②運転免許自主返納者に対する交通チケット申請者数 ③市のLINE公式アカウント登録者数				

事業概要【AIデマンド交通】

自治体名	岩手県奥州市	人口	109,942人	事業費	12,480千円
事業概要	現在のデマンド交通については、運行計画策定システムやナビゲーションシステムがなく、専属のドライバーに頼った運行となっていることから、AI技術を活用した最適な配車やルート生成による効率的な運行を行う。 また、予約アプリを活用した24時間予約受付や運行状況がスマートフォンで確認できる環境を構築し利用者の利便性の向上を図るもの。				
具体サービス	【地域住民向けデマンド交通サービス】 □市民がデマンド交通を利用したいとき、電話またはアプリで、乗降したい時間、乗降したい場所の事前予約ができる。 □利用者のニーズが高い場所で乗降させるため、病院やスーパー、駅や地域コミュニティセンター等の公共施設に指定停留所を設置する。 □アプリによる24時間受付により、高齢者の家族による予約サポート環境を整備し、高齢者の外出機会を創出する □アプリにより予約到着時間や車両位置の確認ができる。 【A I 運行システム】 □利用者から乗車依頼を受付け、最適な乗り合わせと経路をA I が計算 □目的地まで乗合送迎で運行				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AIデマンド交通登録者数 ②AIデマンド交通利用者数 ③アプリ予約による利用率 【アウトカム指標（成果指標）】 ①AIデマンド交通利用者のアンケートによる満足度 ②運転免許証の自主返納者数 ③				



事業概要【A I オンデマンド型相乗エアポートタクシー事業】

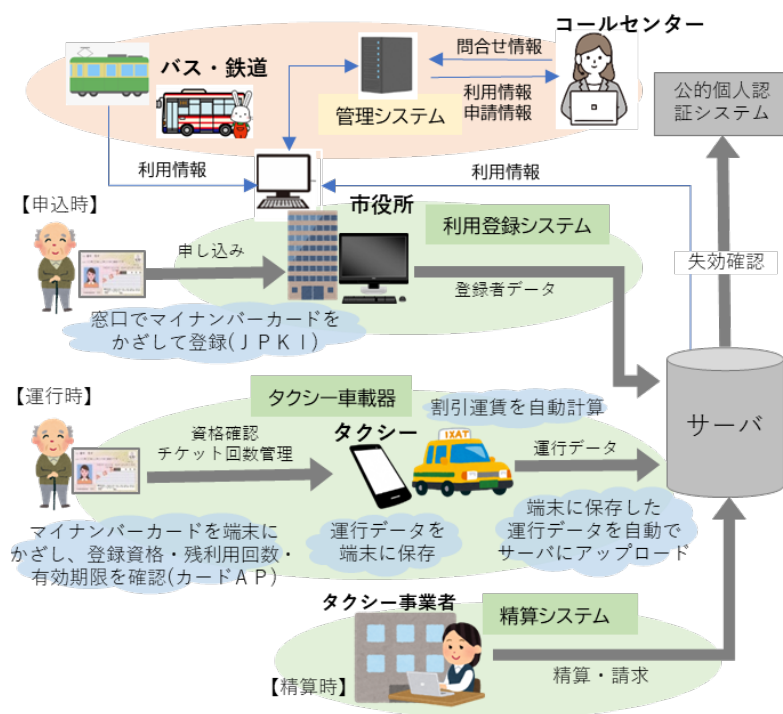
自治体名	秋田県大館市	人口	66,917人	事業費	32,248千円
事業概要	現在、大館市（中心部）から大館能代空港の間で運行しているリムジンバスの移動時間が約 7 0 分と長時間に及んでいるほか、当該空港に大館市（中心部）へ向かうタクシーが待機していないため移動手段に困るといった、地域交通網の整備に対する課題が年々大きくなっている。既存の公共交通手段を補完する新たな移動サービスである相乗エアポートタクシー事業を実施することで、地域交通網の課題解決を図る。				
具体サービス	【A I オンデマンド交通システム】 ダイヤが固定ではなく、乗客のリクエストに応じ、AIがリアルタイムでルートを決出し運行するサービス。 ① 予約の依頼 ・利用者は、インターネットまたはスマートフォンから、システム提供事業者のホームページまたはアプリケーションにアクセスし、必要な情報を入力し、予約依頼を行う。 ・依頼後 2 4 時間以内に予約可否の連絡をメールまたは通知で利用者へお知らせ。 ② 予約の確定 ・2 4 時間以内に配車可否を利用者へ通知。 ・前日の所定時間までに乗車時間と車両が確定。 ③ 当日・乗車と支払い ・利用者は、乗車時間になったら指定箇所にて乗車。 ・途中でシェア乗り相手が乗車。 ・オンライン決済で支払いをスムーズに。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① 利用者数 ② ③ 【アウトカム指標（成果指標）】 ① 利用者満足度 ② ③				

事業概要 【デジタルを活用した空港の利便性向上・観光誘客強化事業】

自治体名	山形県	人口	1,024,093人	事業費	11,000千円
事業概要	航空会社が提供するMaaSへの庄内空港二次交通の予約連携、おいしい庄内空港ファンクラブLINEへの二次交通予約メニューの設定及び多言語対応のデジタル観光パンフレットの実装、おいしい山形空港サポーターズクラブアプリの導入により、庄内空港・山形空港発着の航空機利用者が求める情報やサービスをすぐに入手・利用できるようにすることで、利用者の利便性向上を図るとともに、空港を起点とした観光周遊を促進する。				
具体サービス	【乗合タクシー等予約連携サービス】 ・ANAのMaaSへの庄内空港発着の乗合タクシー等の予約連携 ・おいしい庄内空港ファンクラブLINE改修による乗合タクシー等の予約メニュー設定 【多言語対応デジタル観光パンフレット提供サービス】 ・おいしい庄内空港ファンクラブLINEでの多言語対応のデジタル観光パンフレットの提供 【おいしい山形空港サポーターズクラブアプリ】 ・デジタル会員証の表示 ・搭乗特典（ポイント・クーポン）の提供 ・航空便運航状況や二次交通等の情報提供 ・利用状況データの収集 【乗合タクシー等予約連携サービス】 【デジタル観光パンフレット】 【サポーターズクラブアプリ】				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①LINEからの乗合タクシー予約メニュークリック数 ②庄内空港発着の乗合タクシー利用者数 ③LINEからのデジタル観光パンフレットメニュークリック数 ④おいしい山形空港サポーターズクラブ会員数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①庄内空港発着の乗合タクシーの満足度 ②デジタル観光パンフレットの満足度 ③おいしい山形空港サポーターズクラブ会員の満足度				

事業概要 【マイナンバーカードを活用したタクシー運賃割引補助システム構築・運用事業】

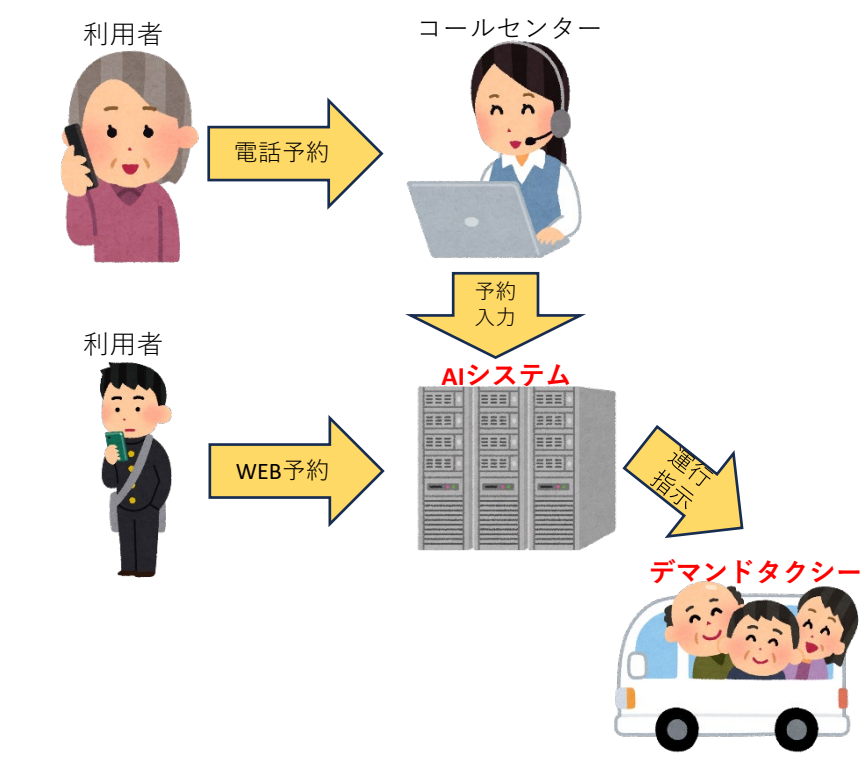
自治体名	福島県福島市	人口	268,173人	事業費	198,011千円
事業概要	本市で実施してきた75歳以上の高齢者への一部バス・鉄道の運賃支援に加え、新たにタクシーも加えることで、公共交通空白地域等における移動支援を行うとともに、タクシーの利用促進を図るもの。マイナンバーカードを活用したタクシー運賃補助システムを構築・実装することで利便性の高い新制度とし、加えて管理システムにより申請時の確認及び各交通モードの利用情報を集計・分析することで、円滑な制度移行とデータに基づく施策展開を図る。				
具体サービス	【1】マイナンバーカードを活用した高齢者へのタクシー利用支援 - 利用登録システム(Igwan-asp) マイナンバーカードの空き領域にシステム上のID等の資格情報の書き込みと電子チケットを付与。 - タクシー車載器(スマートフォン端末及びアプリ) タクシー乗車時に利用者がマイナンバーカードを車載器にかざし、資格確認とチケット減算を行い、タクシー運賃を割引。 - 精算システム(パソコンアプリ) 車載器運行データをサーバー経由で、タクシー事務所に設置した精算システムに反映。市へオンラインで請求。 【2】管理システム導入事業 - 管理システム 利用者の申請情報をDB化。再発行時等にデータ連携。補助対象の交通モードの利用状況の集計・分析。オンラインにより、登録窓口・コールセンター・市で情報リアルタイムで共有。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 - 高齢者移動支援制度（バス鉄道・タクシー含む）の登録率 - 高齢者移動支援制度（バス鉄道・タクシー含む）の利用率		【アウトカム指標（成果指標）】 高齢者移動支援制度（バス鉄道・タクシー含む）に対する満足度		



事業概要【A I オンデマンド交通事業（西部エリア）】

自治体名	福島県喜多方市	人口	44,383人	事業費	39,844千円
事業概要	本市西部エリア（山都・高郷地区）は、市の中心部（市街地）や隣接する会津坂下町まで約10km～20km離れており、病院やスーパー・商店等が密集しているエリアまでの移動に不便をきたしていることから、A I オンデマンドバスを運行し、自宅から目的地（または目的地の近く）までの移動を可能とするとともに、専用アプリやL I N Eアプリの導入により24時間いつでも乗車予約できるようにする。				
具体サービス	【A I オンデマンドバス（乗合）】 - 専用アプリ、L I N Eアプリ、受付センターへの電話による乗車予約データに基づき、AIが配車・経路の最適化を行い、バス運転手のタブレットに送信。 - 専用システムアプリ（24時間） - L I N Eアプリ（24時間） - 受付センターによる電話予約（9時～17時）		ユーザー アプリ/電話 クラウド 車両 のーとアプリ コールセンター 有人電話受付 自動音声受付 乗車希望 配車情報 ・会員管理 ・配車手配 ・決済処理 ・データ蓄積 Spareサーバー（クラウド） 配車指示 タブレット ・本人確認 ・決済実施 ・運行実施 喜多方市地域公共交通会議（事務局） ブラウザベースのプラットフォームでの統合的管理		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①予約型乗合交通利用者数 ② ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①公共交通市民満足度 ② ③		

事業概要【デマンド交通AIシステム導入事業】

自治体名	福島県大玉村	人口	8,774人	事業費	6,000千円
事業概要	平成29年より運行している「デマンドタクシー」について、現在タクシー会社に委託して運行している。AIシステムを導入することで、ウェブからの予約、運行ルートの自動選定、配車の自動計算ができるようになり、効率的な運営につながり、利便性向上を図る。				
具体サービス	【予約配車システム】 独自のアルゴリズムで配車計算を行う。配車結果はドライバー用、オペレーター用アプリケーションに自動反映されいつでも確認できる。 【利用者用予約アプリケーション】 スマホやPCからいつでも予約が可能。お気に入りや履歴情報を利用できるなど便利な機能。 【オペレーター用アプリケーション】 CTI機能を用い、パソコン上で電話を受けながらスムーズに予約入力できる。 【ドライバー用アプリケーション】 配車計画を乗降順に表示し、瞬時に送迎順序を把握可能。 【管理者用アプリケーション】 運行データの蓄積、出力が可能となり、容易に現状分析できる。 				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①デマンドタクシー利用者数（人/年） ②ウェブ予約利用数（件） 【アウトカム指標（成果指標）】 ①デマンドタクシー利用者満足度（％）				

事業概要【AI活用型オンデマンドバス事業】

自治体名	福島県矢吹町	人口	16,963人	事業費	53,961千円
事業概要	自家用車等の移動手段を持たない住民の移動手段確保を目的として、AI活用型オンデマンドバスを導入することにより、本町西部の市街地に集中する主要な公共施設・商業施設へのアクセス向上を図り、高齢者の自立支援や町民の利便性向上を目指す。				
具体サービス	【AI活用型オンデマンドバス・サービス】 - AI活用型オンデマンドバスを導入し、利便性向上による公共交通利用者増と乗合による輸送効率向上によるドライバー不足等の課題を克服し、持続的公共交通の実現を目指す - 現状コミュニティバスが抱える「便数が少ない」、「乗車時間が長い」、「バス停が遠い」などの問題に対して、本サービス導入により「自由に予約」「移動時間・徒歩時間短縮」を実現し、高齢者の免許返納を促すとともに、公共交通利用を促進させ、高齢者交通事故防止に繋げる - 電話に加えてアプリ・LINEでの予約を可能とし、幅広い年代層が利用し易い環境を構築する - 利用状況をデータ化することができるため、街づくり・福祉部局等と共有することで、行政サービスや民間サービスの拡大に繋げる。第一弾としてスクールバスへの活用を図る 誰でも簡単に配車予約  電話 スマフォ LINEアプリ AI自動配車・運行指示で業務負担の大幅軽減  - ルート自動生成 / ナビ指示 - 予約 / 乗車実績の集積 AIが学習する乗合型サービス  輸送効率が高く少ない車両で輸送力UP  - 最適運行ルートをAI自動生成 - 需要に応じて乗り合せながら運行するためロスなく効率的 データ蓄積・分析による施策の見える化  				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AI活用型オンデマンドバス利用件数 ②アプリ/LINEからの予約の割合 【アウトカム指標（成果指標）】 ①公共交通サービスの満足度 ②運転免許返納者数				

事業概要【デマンドタクシーAI配車システム導入事業】

自治体名	茨城県東海村	人口	37,851人	事業費	22,176千円
事業概要	平成18年度に運行を開始した本村のデマンド交通「あいのりくん」は、年間の利用が4万件前後と村民の生活の足として定着しているものの、人の手による配車調整等に限界があり、予約受付や運行の効率性等に課題を抱えている。現状のままでは、高齢化を背景としたさらなる交通弱者の増加に対応できないことから、AI配車システムを導入し「あいのりくん」の機能を拡充することで諸課題の解決を図り、持続可能な公共交通体系を構築する。				
具体サービス	【AI配車システム】 ・ユーザーは、ウェブ・アプリケーションまたは電話で乗車時間・村内の任意の乗降場所・乗車人数を指定し予約を行う。 ・アプリケーション予約であれば、AIにより24時間予約受付処理が可能（乗車するタクシーの位置情報も確認可能） ・予約状況に応じてAIが即座に効率的な乗合となるよう運行経路を生成し、運行事業者（ドライバー）に対して乗車ユーザーの情報、迎車時刻及び運行経路等を通知し、配車指示を実施 ・時刻表の制限がなくなり、随時運行が可能 ・ユーザーに対してAIが精度の高い出発・到着予定時刻を提示 ・運行データを蓄積・分析することで、運行の見直し・最適化が可能 ・車内キャッシュレス決済にも対応可能 電話予約 ネット予約 AIによる高速計算により、異なるデマンドに対してもリアルタイムで最適な経路を走行 AI 配車調整・指示 TAXI 迎車 ユーザーA乗車 ユーザーB乗車 ユーザーA降車 ユーザーB降車				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AIによる配車件数 ② ③ 【アウトカム指標（成果指標）】 ①デマンドタクシーユーザー利用満足度 ②電話予約時におけるユーザー待機時間 ③				

事業概要【AIオンデマンド交通運行事業】

自治体名	栃木県日光市	人口	76,488人	事業費	10,592千円
事業概要	本市では、一部の地域において、事前登録制のデマンドバスを運行しているが、予約方法が電話のみであること、また時刻表があることで区域内であっても移動が制限されており、不便な状況である。AIオンデマンドシステムを活用した新たな手法を導入することで、市民がより利用しやすい地域交通を目指したい。				
具体サービス	【AIオンデマンドシステム導入】 ・AIオンデマンドシステムを活用した効率的な乗合交通 ・運行区域内であれば、乗り継ぎなしで目的地に移動が可能 ・事前登録・事前予約制（予約方法は電話、スマートフォンアプリ、ウェブ） ・指定の乗降ポイントでの乗り降り		 オンデマンド交通予約のイメージ(MONET Technologies(株)作成)		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AIオンデマンド交通利用者数【人】 ②新交通システム予約アプリダウンロード累計数【件】		【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者1人当たりの公的資金投入額[円/年] ②AIオンデマンド交通利用者の満足度[%]		

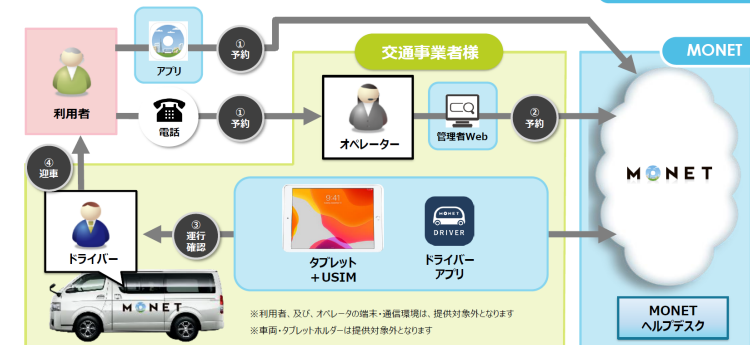
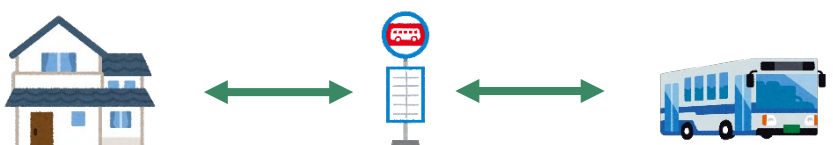
事業概要 【オンデマンド交通システム導入事業】

自治体名	栃木県さくら市	人口	43,841人	事業費	29,666千円
事業概要	車を運転できずバス停から遠いところに住んでいる高齢者等は日常の移動で市が運行する乗合タクシーを利用している。しかしながら、乗合タクシーでの移動は所要時間が長いことや、目的地到着の時間が事前にわからない等の理由により非常に使いにくいものとなっている。AIオンデマンド交通システムの導入により効率的な配車を実現し、車両台数を抑えながらも所要時間の短縮や目的地到着の時間を事前に把握できるようにすることで乗合タクシーの利便性向上を目指す。				
具体 サービス	【オンデマンド交通配車システム】 ・電話予約のほか、WEBサイトまたはアプリによるオンライン予約に対応 ・予約状況は、WEBサイト、アプリ、または自動返信メールにて確認可能 ・オペレーターが予約者の行先を入力すると、ワゴン車の車載機（タブレット）に乗車場所・乗車時間・行先情報をリアルタイムで共有 ・他の予約の行先を判別し、最も効率の良いルートをドライバーに提示することができ、スムーズな配車が可能 ・ドライバーは車内に設置したタブレットに表示されるルートにて運行し、利用者の輸送を行う。		アプリ予約できる乗合型の移動サービス。AI活用で高い輸送効率とデータ経営を実現 ①オンデマンドバスは乗合型 ②アプリ・電話で予約して乗降拠点で乗る ✓ 乗りたい時に予約 ✓ 現在地と目的地を指定 ③クラウド上のAIが運行指示（運転士もラクラク運転 / 運行管理者もダイヤ作成不要） ✓ 予約 / 乗車実績の集積 ✓ ルート自動生成 / ナビ指示 ✓ 需要予測 ④輸送効率の高さ ✓ 小型車だからルート自在（乗降拠点の柔軟な配置） ✓ 小型車だけど、デマンドに基づき乗り合せながら走るので、効率輸送 ⑤データを活かせる ✓ 溜まったデータを分析し、打ち手を練る（運行体制改善、マーケティング施策等） ✓ 打った打ち手の結果を検証する		
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①乗合タクシーの利用者数 ②スマホアプリからの予約件数 ③ 1台あたりの乗車人数（日）		【アウトカム指標（成果指標）】 ①公共交通に満足している市民の割合 ②買い物・通院等の交通手段に困っている市民の割合 ③		

事業概要 【マイナンバーカードを活用したタクシー活用事業】

自治体名	群馬県伊勢崎市	人口	212,290人	事業費	20,902千円
事業概要	主要な移動手段が自家用車である本市で高齢者・障がい者等の交通弱者に対し実施を予定しているタクシー活用事業について、DXを導入し利便性向上を図る。当該事業ではマイナンバーカードを活用し、登録時には4情報の自動入力による登録時間削減、乗車時には端末にカードをかざして本人確認を行い、交通弱者が簡易な手続きで事業を利用できるシステムを構築し、家族の支援なしで安心して外出できる市を作り、賑わい創出につなげる。				
具体サービス	【マイナンバーカードを活用したタクシー活用事業の運賃助成補助システム】 ○利用登録システム(Igwan-asp) ・公的個人認証サービスを利用した本人確認 ・カードAPに必要情報を書き込み ○端末システム(スマートフォン端末アプリ) ・タクシー事業者や利用情報を設定可能な機能 ・カードAPの情報を読み込み利用資格を確認 ・利用者の利用情報を端末内部に保持する機能等 ○精算システム(パソコンアプリ) ・市役所側でサーバに保存されている利用情報を閲覧できる機能 <pre> graph LR subgraph Registration [申込時] User1[高齢者] -- 申し込み --> Office[町役場] Office -- "登録者データ" --> Server[サーバ] Office -- "登録者データ" --> Auth[公的個人認証システム] Auth -- "失効確認" --> Server end subgraph Operation [運行時] User2[高齢者] -- "資格確認 チケット回数管理" --> Taxi[タクシー] Taxi -- "運行データ" --> Server Taxi -- "運行データ(乗車時・降車時のGPSと時間)を端末に保存" --> Phone[スマートフォン] Phone -- "端末に保存した運行データを自動でサーバにアップロード" --> Server end subgraph Settlement [精算時] Taxi -- "精算・請求" --> Server end </pre>				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①タクシー活用事業登録者数 ②タクシー活用事業利用回数 ③タクシー活用事業説明参加人数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者・事業者で事業に満足していると感じた割合 ②運転免許自主返納者数 ③マイナンバーカードの交付率				

事業概要【A I を活用した町内全域デマンド乗合タクシー運行事業】

自治体名	群馬県玉村町	人口	35,801人	事業費	44,432千円						
事業概要	本町が現在運行している定時定路線型の乗合タクシー「たまりん」について、住民の移動ニーズに即したデマンド乗合タクシーをA I によるデマンド予約配車システムを活用し町内全域で導入し、既存路線バスと乗降ポイントの共有を行うことで、移動時間の短縮と利便性の向上を図り、誰もが安心して外出できる生活しやすい環境の構築を実現する。										
具体サービス	【アプリ等による予約サービス】 - アプリやラインを活用した予約 (オペレーターによる電話予約も並行実施) - 路線によらない自由な移動 - 乗合による効率的な運行 【デマンド予約配車システム】 - A I による予約に応じた効率的なルートの生成 - 町内すべての路線バスのバス停をデマンドの乗降ポイントとして設定 デマンド予約配車システムを用いた運行概要イメージ  路線バスとの結節で、地域公共交通を持続可能な体制構築  自宅付近 路線バスと乗降ポイントを共有 町外への移動 <tr><td>主なKPI</td><td colspan="5"> 【アウトプット指標（活動指標）】 ①デマンド乗合タクシー利用者数 ②デマンド予約配車システム登録者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①デマンド乗合タクシー利用者による満足度 ②高齢者の運転免許返納者数 ③既存路線バスの乗客数 </td></tr>					主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①デマンド乗合タクシー利用者数 ②デマンド予約配車システム登録者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①デマンド乗合タクシー利用者による満足度 ②高齢者の運転免許返納者数 ③既存路線バスの乗客数				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①デマンド乗合タクシー利用者数 ②デマンド予約配車システム登録者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①デマンド乗合タクシー利用者による満足度 ②高齢者の運転免許返納者数 ③既存路線バスの乗客数										

事業概要【ところバスロケーションシステム導入事業】

自治体名	埼玉県所沢市	人口	343,704人	事業費	9,281千円
事業概要	本市で運行しているコミュニティバス（ところバス）は、交通渋滞により遅延が発生する場合があります、到着時刻がわからないままバスを待つことが利用者にとって深刻な負担となっている。また、迂回や運休等を利用者に伝達する手段がアナログ若しくはプル型の通知に限られ、リアルタイムに情報を発信・入手することが困難な状況である。バスロケーションシステムの導入により、情報面からバス利便性を向上し、市民サービスの向上につなげる。				
具体サービス	【バスロケーションシステム】 - GPSまたはバス搭載の音声合成装置との接続により、バスの位置情報を取得し、サーバーに送る。 - 利用者は、自身のスマートフォン等を使用して、WEBブラウザからバスロケーションシステムにアクセスし、バスの現在位置、到着予定時刻を確認する。 - 現在位置、遅延状況のほか、自治体及び運行事業者から利用者に通知すべき運行情報、イベント情報（平常時）等を、リアルタイムで利用者に発信する。 （派生的機能） - 別途計画している統合型GISを導入した際には、API連携を実現し、EBPMを推進する。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①バスロケーションシステムへのアクセス数 ② ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①交通政策に対する市民満足度（市民意識調査） ②ところバス利用者数 ③利用者満足度（利用者アンケート）		

事業概要【A I オンデマンド型交通システム導入及び運用業務事業】

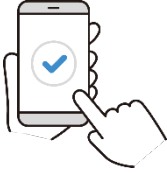
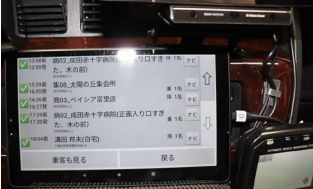
自治体名	埼玉県本庄市	人口	77,322人	事業費	42,246千円
事業概要	本市では、平成25年10月にデマンドバスを導入しましたが、予約方法が電話のみであること、システム導入後10年を経過することから、予約システムの改善を行うものです。令和4年度に実施したデマンドバス利用者を対象とした満足度調査では、「満足」及び「やや満足」と回答した方よりも「やや不満」及び「不満」と回答した方が多く、その理由については予約に関する内容が最も多い結果となり、デマンドバスの予約システムの改善が課題となっています。そこで、A I を活用したデマンドバス配車システム等の「A I オンデマンド型交通システム」を導入し、利用者の利便性向上を図ります。				
具体サービス	①デマンドバス配車システム A I を活用した効率的な配車、自動ルートの生成が可能となります。また、予約の追加やキャンセルに応じ、運行計画を自動で修正することができます。 ②ユーザーアプリ（LINEミニアプリ含む） デマンドバスの予約状況の確認、そのキャンセル、乗降場所の案内等がアプリで可能となります。また、市の公式LINEから予約機能を起動することができます。 ③ドライバーアプリ A I デマンドバス配車システムが作成した運行ルートの表示が可能で、乗務員に対するナビゲーション機能等を有します。 ④管理者Web 利用実績の随時確認等が可能で、利用実績が分析可能なファイル形式でダウンロードできます。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①デマンドバスの利用者数 ②ユーザーアプリ（LINEミニアプリ含む）からの予約割合 【アウトカム指標（成果指標）】 ①デマンドバスに対する満足度の向上 ②ユーザーアプリ（LINEミニアプリ含む）からの予約割合				



■出典：国土交通省ホームページ

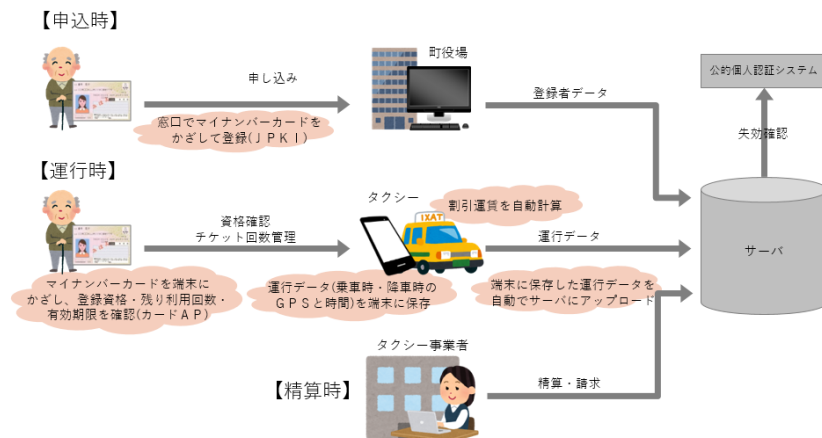
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/japanmaas/promotion/measures/index.html>

事業概要【デマンド交通Web予約システム導入推進事業】

自治体名	千葉県富里市	人口	49,647人	事業費	3,960千円
事業概要	全市民を対象として令和4年10月より運行しているデマンド交通（キャロリン号）の予約方法は、現在電話予約のみとなっている。多くの市民から好評をいただいております。日常生活の交通手段として定着しつつあることから、携帯電話やタブレット等から予約可能なWeb予約システムを導入し、予約方法を増やすことにより市民の利便性向上を図る。				
具体サービス	【デマンド交通Web予約システム】 ・現在の予約状況が画面上で確認できる。 ・携帯電話、タブレット等からWebで乗車予約ができる。 電話  予約センター  Web予約  運行管理システム  新規 車載機器  運行経路  配車				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①Web予約システム利用件数 ② ③ 【アウトカム指標（成果指標）】 ①デマンド交通利用者満足度 ②デマンド交通新規利用登録者数 ③				

事業概要 【マイナンバーカードを利活用したデマンド相乗りタクシー運賃補助システム】

自治体名	東京都青梅市	人口	129,487人	事業費	15,048千円
事業概要	令和5年3月に青梅市地域公共交通計画を策定した。その目標として、公共交通の維持と運行サービスの改善、デジタル化の活用による運行サービスの向上を掲げた。 その施策の一つとして、市では既存の公共交通の維持・確保、鉄道と路線バスのサービス圏外解消を目的に、「相乗りデマンドタクシー」のサービスを導入することとした。本事業では、市民が効率良く利用できること、タクシー事業者や市が効率良く処理できることを目的に、マイナンバーカードを用いたサービス展開を実装する。				
具体サービス	群馬県前橋市で運用されているマイナンバーカードを利活用したマイタクサービスを活用した実装の取組 ※マイタクサービス 事前に登録したマイナンバーカードを所有する市民がタクシーを利用する際、専用端末にマイナンバーカードをかざすと、規定の割引が受けられるようになるサービス。複数人で乗車すると割引額が増えることから、デマンド相乗りタクシーサービスの一つでもある。 【マイナンバーカードを利活用したデマンド相乗りタクシー運賃補助システム】 ・利用登録システム(Igwan-asp) ・端末システム(スマートフォン端末アプリ) ・精算システム(パソコンアプリ)				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ・システムの利用登録者数 ・登録者1人あたりの利用回数	【アウトカム指標（成果指標）】 ・タクシー実働率			



事業概要【バスロケーションシステム・乗降客カウントシステム導入事業】

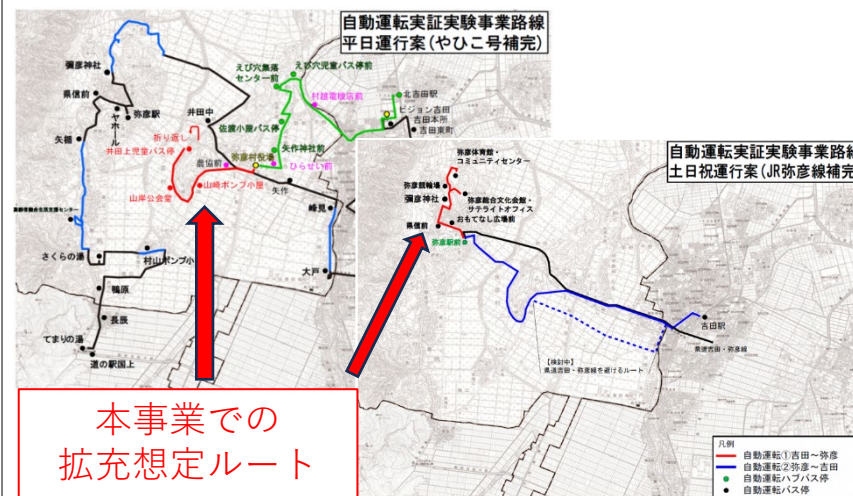
自治体名	神奈川県座間市	人口	131,913人	事業費	3,156千円
事業概要	市のコミュニティバスにGPS内蔵のタブレット機器を搭載し、バスが遅延している等の運行状況や位置情報および車内混雑状況を利用者がリアルタイムで確認することができるもの。バスの運行状況等を可視化することで、バスの利便性が向上するとともに、目的地への移動手段の選択が可能となる。また、タブレット機器を用いて乗降客数や乗降停留所などのデータを取得し、今後の運行見直しや新たな交通手段の検討の基礎資料として活用する。				
具体サービス	【バスロケーションシステム】 ・事前に運行経路や系統を登録したタブレット機器を車両に設置することで、タブレット機器に搭載のGPSがバスのリアルタイムの位置情報や遅延情報を送信する ・バス利用者はスマートフォンやパソコンから専用ウェブページにアクセスすることで、バスの位置や遅延の状況を確認可能 【乗降客カウントシステム】 ・乗務員がタブレット機器を操作し、停留所ごとに乗降客数のカウントを行う ・事前に停留所位置を登録することで、GPSにより停留所は自動で切り替わる ・蓄積されたデータは、管理画面から分析やCSV形式での出力が可能				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①バスロケーションシステムへのアクセス数 ② ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①乗り残し人数 ②サービス利用者満足度 ③		

事業概要【AIオンデマンド交通運行事業】

自治体名	新潟県阿賀野市	人口	39,897人	事業費	29,319千円
事業概要	市内を運行する「阿賀野市営バス」は年々利用者数の減少が続いており、非効率な運行や運転手不足、車両の維持確保などの課題を抱えている。AIオンデマンド交通システムを導入することで、利便性の向上と効率的な運行を図るとともに、地域の日常生活における移動手段を確保し、持続可能な公共交通の実現を図る。				
具体サービス	【AIオンデマンド交通システム】 ・ 利用者はアプリ、電話、LINEで予約し、指定の乗降ポイントで乗り降りする ・ 予約はアプリ、LINEを活用した24時間予約が可能 ・ 予約状況の応じてAIが最適なルートを導き出し、ドライバーに対して効率的な配車を指示 ・ 利用者は希望の乗車時間に近い時間で利用が可能 ・ AIの活用で効率的な乗合運行を実現				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AIオンデマンド交通アプリ・市公式LINEでの直接予約率 ②市公式LINEアカウントのユーザー件数 ③AIオンデマンド交通利用者数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①AIオンデマンド交通利用者の満足度 ② ③		

事業概要【自動運転バス運行事業】

自治体名	新潟県弥彦村	人口	7,591人	事業費	85,707千円
事業概要	既存公共交通である広域循環バスやひこ号やJRを補完することを目的に、自動運転技術を活用し持続可能な公共交通の確立を目指すもの。令和6年2月より自動運転バスの通年運行をすでに開始しており、中長期的に継続運行をしていくことが決定している。本事業では、村民の生活圏のルート拡充を行うとともに、観光やお出かけ向けの周遊ルートを追加することで、交通課題の解決に加え、地域の魅力向上を目指す。また現在実施している電話予約サービスを代替する、マイナンバーカードを活用した予約システムを導入することにより、地域公共交通サービスの大幅拡充を行うものである。なお自動運転バス、及び予約システムは本事業終了後も継続運用していく。				
具体サービス	【自動運転バス運行事業（拡充）】 - 路線①（平日：弥彦村役場～井田ルート） 令和6年2月のサービス開始時点で未実装の路線を追加（やひこ号との接続） - 路線②（土日祝日：弥彦駅～弥彦神社周辺） 年間250万人の観光客が訪れる観光地エリアに自動運転車両を走行させる。（JR弥彦線との接続） 【マイナンバーカード予約システム】 - ドライバーを含め8人定員の自動運転バスは、満員の場合乗車を断ることになってしまうため、マイナンバーカードを活用した予約システムを導入し、高齢者や障害者などの利用者が安心して利用できる環境を構築する。 - また、昨年度のデジ田交付金事業（タイプX）で実施したマイナンバーの取り組みを自動運転バスにも展開することで、利用者データを蓄積し、自動運転バスの運行改善、並びに他事業のサービス向上に役立てる。		自動運転実証実験事業路線 平日運行案（やひこ号補完） 自動運転実証実験事業路線 土日祝日運行案（JR弥彦線補完） 本事業での 拡充想定ルート		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①自動運転バスの乗車人数 ②弥彦村公式LINE登録者数 ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者の満足度 ② ③		



事業概要【デマンドタクシー（乗合タクシー）予約システム導入事業】

自治体名	福井県あわら市	人口	26,575人	事業費	8,196千円
事業概要	平成24年度からスタートしたデマンドタクシーは、年間利用者が32,730人、1日平均112.9人(令和4年度実績)となっており、特に高齢者にとっては、通院や買い物など日常生活を送る上で必要な交通インフラとなっている。しかし、電話での予約やアナログな運営により、予約できる時間が制限されるなど、利用者に不便をきたしている。予約システムを導入することで、市民の利便性向上と持続可能な生活交通の確保・充実を図る。				
具体サービス	【デマンドタクシー予約システム導入】 ・ スマホやPCなどWeb予約が可能となる ・ 予約状況はウェブサイトから確認が可能となる ・ 他の予約の行き先を判別し、最も効率の良いルートをドライバーに提示することができ、スムーズな配車が可能となる。		<pre>graph TD; Citizen[市民] -- Web予約 --> Operator[オペレーター 予約配車システム]; Operator -- "配車情報 適切な配車管理" --> Driver[ドライバー]; Driver -- 送迎 --> Citizen;</pre>		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①予約システム利用回数 ②新規登録者数 ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①予約システムを使ってデマンドタクシーを利用した方の満足度 ②あわら市乗合タクシーの利用者数 ③		

事業概要 【A I オンデマンド交通システム導入事業】

自治体名	長野県諏訪市	人口	47,514人	事業費	73,642千円
事業概要	A I オンデマンド交通システムを利用して、諏訪市街地全域（有賀峠・霧ヶ峰方面は除く）を対象に持続可能で市民の安全安心かつ利便性の高い公共交通を令和6年度中に導入し、運行開始とともに随時運行内容を見直し、課題であった路線の複雑化、乗車時間の長時間化、利便性の悪さを解消し、最適な公共交通を提供する。				
具体 サービス	【A I オンデマンド交通システム】 ・事前登録をした後、バス利用者は、電話やアプリ、W e bシステム等から乗車予約を行う。乗る場所、降りる場所、行きたい時間を伝える。 ・システムが予約を確認し、A I を活用して最適なルートを作成し、最適な配車を行う。 ・利用者は、指定した乗降場所から乗り込む。乗合が発生すれば最適なルートによってバスが運行される。 ・利用者は、バスがどこにいるか常にスマートフォンで確認することができ、到着時間も確認することができる。				
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①乗車人数 ②スマートフォンアプリ又はW e b 予約件数 ③乗合率		【アウトカム指標（成果指標）】 ①AIオンデマンド交通に対する満足度 ②高齢者の免許返納者数		

事業概要 【シームレスな移動を可能にする交通データプラットフォーム連携事業】

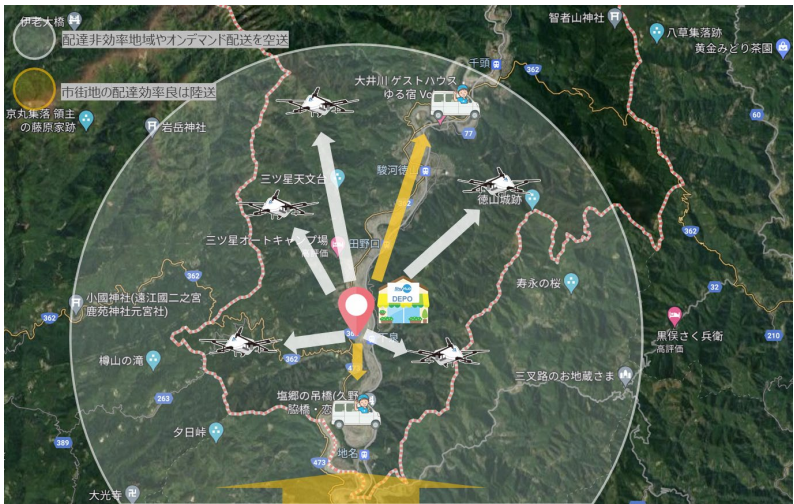
自治体名	静岡県沼津市	人口	187,959人	事業費	11,346千円
事業概要	駐車場の規模や事業者に限らず満空情報を統一的に表示する可視化、バス停や駐車場等からのシームレスな移動手段の情報に加え域内の観光・イベント情報などを統一されたユーザーインターフェイスで市民にも観光客にもわかりやすく提供できるサービスを構築する。一次交通や自家用車での沼津市への来訪促進に加え、域内の駐車場利用の分散と共に二次交通利用も促進し、市民及び観光客の利便性と滞在時間の体験向上を図る。				
具体サービス	【観光・MaaSサービス】 鉄道・バス経路検索アプリへ観光情報，飲食店情報を付加し，移動と観光情報を一元的に集約する。同アプリに市内中心街エリアの駐車場情報を盛り込み，自動車での来訪者へ向けて駐車場利用の分散化と中心街への回遊性向上を実現する。 【モビリティデータプラットフォーム】 市内中心部の駐車場満空データを観光・MaaSアプリに連携させる。 将来的に，乗り合いタクシーなどの住民向け移動支援などの交通サービス層のプラットフォームを構築する。データ連携基盤に接続することで住民のシームレスな移動サービスに展開させる。 <pre> graph TD Bus[バス
(自動運転)] <--> DKB[データ連携基盤] Taxi[タクシー
(乗り合い)] <--> DKB Restaurant[飲食業] <--> DKB Accommodation[宿泊業] <--> DKB RentalCar[レンタカー業] <--> DKB subgraph R6_Target [R6年度 連携対象] direction TB P1[駐車場満空データ PF] P2[モビリティデータ PF] P3[観光・MaaS PF] P1 -- "駐車場情報" --> P2 P2 -- "来訪者情報" --> P1 P2 -- "駐車場案内追加" --> P3 P4[来訪者地域・時間帯分析] --> P2 P5[観光・イベント・飲食・宿泊情報] --> P3 P6[沼津市観光ポータルサイト・SNS] --> P3 end P1 <--> PDB1[パーキング運営事業者データDB] P1 <--> PDB2[駐車場満空データDB] P2 <--> PDB3[来訪車分析用車番認証 PF] P3 --> P7[観光施策] </pre> 駐車場利用分散に向けた利用者への適及				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① ジョルダン乗換案内アプリの沼津観光MaaS適用累計数 ② ジョルダン乗換案内アプリの沼津観光MaaS駐車場案内コンテンツの平均閲覧数 ③ 沼津観光ポータルアクセス数 【アウトカム指標（成果指標）】 ① 市施策に対する市民の満足度 ② 市内中心市街地の駐車場利用分散の計測 ③ ジョルダン乗換案内アプリの沼津観光MaaSサービスの満足度				

事業概要【M a a S推進に係るA I オンデマンド交通システムの高度化による市内公共交通の最適化事業】

自治体名	静岡県富士市	人口	247,947人	事業費	22,800千円
事業概要	民間の交通事業者が現在運行している路線バスの一部をA I オンデマンド化することにより、利用者の利便性向上を図るとともに、運行の効率化や車両のダウンサイズを図り運転士不足の解消に寄与する。また、M a a Sシステムを実装することにより、公共交通全体の利便性を向上し、市内公共交通の最適化を図る。				
具体サービス	【民間路線バスのA I オンデマンド化】 - 民間交通事業者が運行する路線バスのA I オンデマンド化 - 専用アプリやL I N E、電話による配車予約 - A Iによる効率的な運行ルート作成と配車 - 路線バスと比べきめ細かな乗降場所を設定することで利用者の利便性が向上 - 車両小型化による運転士確保等、持続可能な公共交通ネットワークの構築に寄与 【M a a Sシステムの連携】 - 路線バスやタクシー、鉄道、A I オンデマンド交通などの異なる交通モードによる移動をM a a Sシステム上の一つのサービスでシームレスに完結 - その他、外出促進に繋がる情報配信等 - これにより、市民に加え来街者の移動の利便性を向上させ、行動変容を促進		 「まちづくり」と「ネットワーク」をキーワードに展開 既存の公共交通 (路線バス・タクシー・鉄道等) R6 A I オンデマンド交通の拡張・ M a a Sシステム連携 - 民間交通事業者の路線バスへのA I オンデマンドの導入 - 自動運転の実証実験など A I オンデマンド交通の波及 自動運転レベル4の実現 その他、連携して諸事業を展開し、バランスのとれた都市交通体系を実現 (例) M a a S活用、交通と観光の強固な連携、シェアサイクルの導入など		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 - A I オンデマンド交通のユーザー登録者累計数 - A I オンデマンド交通の年間利用者数 - A I オンデマンド交通（民間路線バス転換分）の年間利用者数 - M a a Sシステムによる情報発信等の件数		【アウトカム指標（成果指標）】 - A I オンデマンド交通の利用者満足度 - A I オンデマンド交通（民間路線バス転換分）の利用者満足度 - M a a Sシステムの利用者満足度		

事業概要【ドローンを活用した新スマート物流実装事業】

自治体名	静岡県川根本町	人口	5,929人	事業費	100,000千円
事業概要	町が抱えている高齢化に伴う地域課題は、交通・買い物問題や物流問題となっている。 そこで課題解決のため、買い物支援等、様々な用途でドローン(空送)と軽バン(陸送)をハイブリット活用するシステム構築、住民の利便性を維持・向上させ、持続可能な地域を目指す「新スマート物流SkyHub®」を実装する。				
具体サービス	地区内に拠点とドローン着陸ポイントを設置し、ドローン着陸ポイントまでドローンで配送。悪天候時や重い荷物、人が運んだ方が効率的な場合は陸送 【ドローンと陸送を組み合わせた配送サービス】 ・ 買物代行／フードデリバリーサービス ・ 共同配送（各社が赤字で運んでいる荷物を1社が担うことで自走に必要な採算性を確保し、地域のドライバー不足解消を図る 【配送管理システム】 ・ 陸送とドローン配送の管理システム ・ ドローンが運んだ方が効率的な場所、荷物量をシステムで管理				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①ルート開通本数 ②共同配送事業に参加する物流企業数及び配送品の受注サービス連携商店数 ③配送サービス利用者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①現地新規雇用数 ②サービスの満足度				



事業概要 【自動運転社会実装プロジェクト推進事業】

自治体名	愛知県	人口	7,482,401人	事業費	111,818千円
事業概要	自動運転技術の社会実装により、自動車産業の振興のみならず、高齢者の移動支援をはじめ、地域公共交通の運転手不足といった地域課題の解決に繋がることが期待されている。本事業では、地域交通や観光地における自動運転バスの実装により、地域交通網の確保や観光地の魅力向上に加えて、交通事故の削減による安心・安全なまちづくりの実現を目指す。				
具体 サービス	【自動運転バスの運行サービス】 愛知県内の2つのエリアにおいて、地域住民や観光客等が実際に利用できる自動運転バスを運行 - 中部国際空港島及びりんくう地区（常滑市） - モリコロパーク（長久手市）		 【長久手市】 モリコロパーク 【常滑市】 中部国際空港島及びりんくう地区		
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①自動運転バスの運行日数 ②自動運転バスの利用人数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①自動運転バスの再利用意向		

事業概要 【相乗りタクシー運行事業】

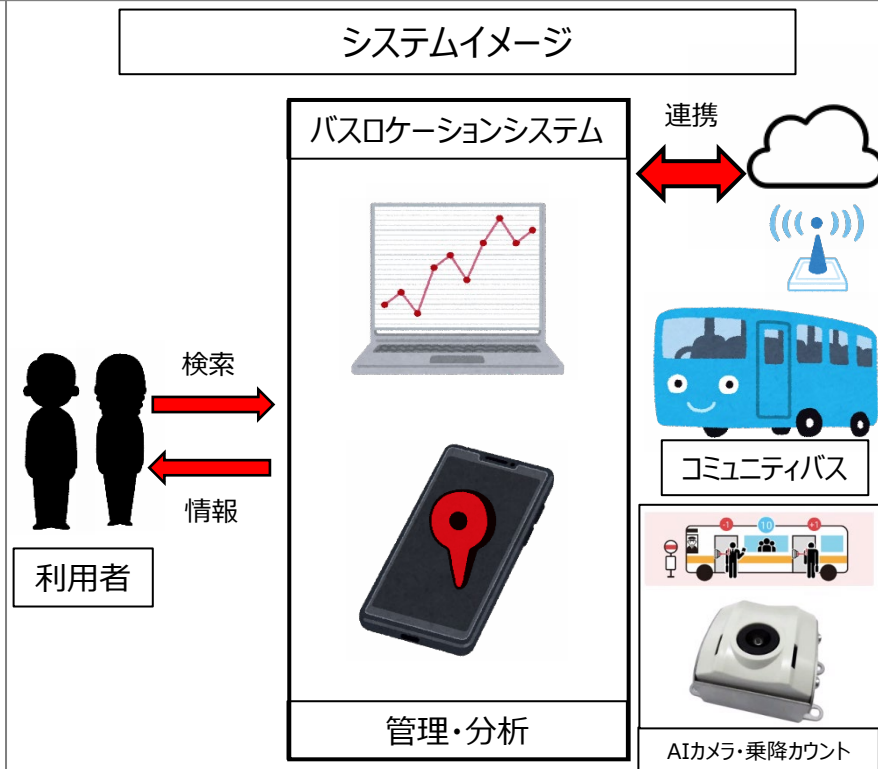
自治体名	愛知県西尾市	人口	170,316人	事業費	10,270千円
事業概要	低利用の状況にある市内一色地区のコミュニティバスの運行を見直し、タクシー配車アプリの活用により複数の配車依頼をマッチングして運行するAIオンデマンド型の「相乗りタクシー」サービスを導入する。地域住民の移動需要に柔軟に対応するドアツードアの移動サービスの提供が可能となるとともにタクシー事業のDX化も推進する。 タクシー事業のドライバー不足と生産性向上に対応した交通サービスであり、専用車を用いたデマンド型乗合交通やコミバスに比べ、行政コストを抑え、利用者利便性の高い持続可能な公共交通体系の構築する。				
具体サービス	本業務で導入するシステムは、市民の日常生活における移動需要に柔軟に対応する「AIオンデマンド型相乗りタクシー」を実現します。 【未来シェア SAVS】 ・ 自宅/目的地から乗降時刻・行先の要望を集約 ・ 移動需要に応じて配車/相乗りマッチングをAIが実施 ・ AIがルートを決定制し、車両に搭載するタブレットにルートを表示 				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①利用者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①相乗りタクシーサービスの満足度				

事業概要 【バスロケーションシステム導入事業】

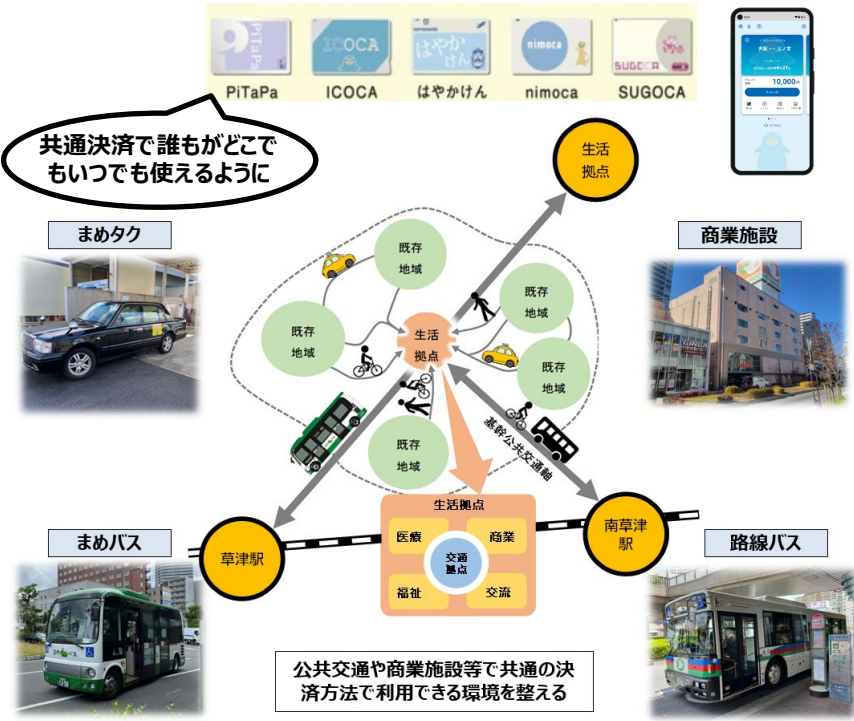
自治体名	愛知県尾張旭市	人口	83,976人	事業費	6,900千円
事業概要	市営バスあさぴー号にGPS端末及びAIカメラを設置し、バスの走行位置や車内の混雑状況等を可視化、利用者がインターネットから確認できる環境を構築することで住民サービスの向上を図るとともに、GPS端末及びAIカメラを活用し、乗降客のデータを収集することで、効果的な市営バスの運行形態の構築（ルート、時刻表の再編等）など、今後の市営バス運行の最適化に向けた検討への活用を目指します。				
具体サービス	【バスロケーションシステム】 GPS端末により、バスの走行位置をインターネットから可視化できるようになるため、利用者がバスの走行位置をリアルタイムで確認できるようになる。 【乗降客カウントシステム】 AIカメラにより、バスの混雑状況をインターネットから可視化できるようになるため、利用者がバスの混雑状況をリアルタイムで確認できるようになる。		【カメラ版】  （使用車載器：バスロケ用車載器＋AIカメラ） 精度目安：95% 技研トラステム社製AIカメラにより自動的に乗降客をカウントします。 【バス予報画面】  「バス予報」利用者画面には、このようお知らせされます。		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①市営バスあさぴー号の年間利用者数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①市営バスあさぴー号の総合的な満足度		

事業概要【武豊町利便性向上公共交通ネットワーク形成事業】

自治体名	愛知県武豊町	人口	43,365人	事業費	2,527千円
事業概要	高精度AIカメラを搭載したバスロケーションシステムを導入し、バスの走行位置や混雑状況等を可視化、利用者がインターネットから確認できる環境を構築することで住民サービスの向上を図るとともに、バスロケーションシステムから取得するコミュニティバスの利用者データを活用し、町と一体になった利便性の高い公共交通ネットワークの形成を図る。				
具体サービス	【高精度AIカメラを搭載したバスロケーションシステムの導入】 - バスの走行位置や混雑状況等を可視化し、利用者がインターネットから確認できる環境を構築することで、住民サービスの向上を図る。 - 経路検索サイトやGoogleマップ等の既存の静的データに加え、リアルタイム情報の動的データを提供することで、更なる利便性向上を図る。 - システムから取得するコミュニティバス利用者の乗降データを分析し、公共交通ネットワーク構築に活用することにより、更なる利便性の向上に繋がる。 - システムから取得するデータの一部をオープンデータとして公開することにより、公共交通ネットワークの充実を図る。 ※他自治体等で導入実績があるものを採用する				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①システムのアクセス件数（年間）	【アウトカム指標（成果指標）】 ①コミュニティバスの利用者数（年間）			



事業概要 【コミュニティバスのキャッシュレス・デジタル化事業】

自治体名	滋賀県草津市、栗東市、守山市	人口	296,216人	事業費	34,602千円
事業概要	キャッシュレス化やデジタル化が急速に進む中で、幅広い年代に利用されているコミュニティバスに、他の公共交通機関と同様のキャッシュレス決済や、バスロケーションシステムを活用した検索・乗降システムを導入することにより、公共交通機関の相互利用、サービス充実や利便性向上を図ること、いつでも誰もが安全で安心して公共交通を利用できる環境を構築する。				
具体サービス	【キャッシュレス決済】 - 交通系ICカードを活用したキャッシュレス決済を導入し、現金や回数券等からの転換を図ることで、運転手とのやりとりをなくし、決済、乗降をスムーズにする。 - 各公共交通機関が共通の決済手段を導入することで、公共交通の乗換や地域間の移動時の利便性向上を図る 【検索・乗降システム】 - 利用者は検索機能システムを活用し、運行ダイヤ、バスの走行位置や混雑状況等が確認できる。 - 各系統の運行状況を、クラウド上でリアルタイムに確認でき、利用者からの問い合わせ等に迅速に対応できる。 - 各系統の停留所毎の乗降数データを元に、ニーズにあった費用対効果の高い路線再編等が実施できる。  公共交通や商業施設等で共通の決済方法で利用できる環境を整える				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①周知・広報の実施回数 ②使い方教室の実施回数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①コミュニティバスの利用者数 ②公共交通の利用満足度 ③キャッシュレス決済の利用件数				

事業概要【市営バスのデジタル化推進事業】

自治体名	大阪府高槻市	人口	347,048人	事業費	67,694千円
事業概要	・定期券販売窓口でキャッシュレス決済を導入することで、アフターコロナ社会に適応した窓口対応を実現する。				
具体サービス	【キャッシュレス決済の導入】 これまで現金のみの取り扱いであった定期券販売窓口で、レジとシステム連動させたキャッシュレス決済端末を配置し、クレジットカード・電子マネー・QRコードの決済媒体を使用可能とする。		 * 政府広報オンラインから抜粋		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①年間の定期券購入数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①キャッシュレス決済比率の向上		

事業概要 【生体認証を活用したデジタル乗車券サービス実装事業】

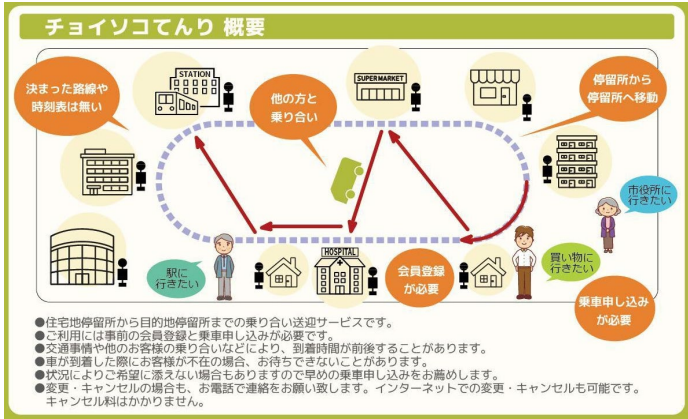
自治体名	大阪府河内長野市	人口	99,287人	事業費	6,000千円
事業概要	・「<u>生体認証（指静脈）</u>」を本人認証の基盤」として、データがつながり、住民の行動にもつながる市民向けICTサービスの拡充を図り、高齢者や年少者を含め、『誰一人取り残さない細やかな地域の仕組み』作りを目指す。 ・ID/パスワードやスマホを必要としない、「生体認証（指静脈）」で、<u>本人確認、地域電子通貨・チケット・ポイント・クーポン</u>など多目的に利用できる「河内長野市生体認証地域通貨基盤サービス（仮）」の提供に向けた実装の第一段として、生体認証によるデジタル乗車券運用事業を実施する。				
具体サービス	「河内長野市生体認証地域通貨基盤サービス」※1（仮）をベースに高齢者に手ぶらで安心・安全・便利な電子決済手段を提供し、より活動的なQoLを促進することを目的とし、現在現金回数券で運用している乗車運賃業務についてキャッシュレス化を図り、ボランティアによる金券出納等の運用業務の軽減を図る。 ※1「生体認証統合基盤サービス」 生体情報を鍵とする公開型生体認証基盤「PBI」技術を用いた安心・安全なクラウド型生体認証基盤サービス 「河内長野市生体認証地域通貨基盤サービス（仮）」 ～生体認証（指静脈）で実現する誰一人取り残さない多目的利用地域活性化支援サービス～				
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①指静脈認証システムの登録者数 ②指静脈認証によるデジタル乗車券の販売数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①指静脈認証サービスの満足度				

事業概要【AIを活用したデマンド型乗合交通導入事業】

自治体名	兵庫県丹波篠山市	人口	39,655人	事業費	70,532千円
事業概要	自家用車で自由に移動してきた世代が高齢者となり、定時定路線型のコミュニティバスでは、市民が満足するサービスとはならない状況。一方、運転免許返納の機運も高まり、通院・買い物のための移動手段として公共交通に期待が高まっている。このことから、定時定路線型サービスに代えて、A Iを活用した配車予約システムによる自由経路型サービスを導入し、高齢者を中心とする市民の通院・買い物のための効率的な移動を確保する。				
具体サービス	【AI活用デマンド型乗合交通】 - インターネット等による配車予約により、時間的に自由度の高い交通サービスの提供 - AIを活用による自由経路型乗合交通の効率的な運行ルート作成と配車 - 定時定路線型よりも多い乗降場所の設定による、出発地・目的地周辺での高い自由度の実現 - 既存交通事業者との連携と車両小型化による運転手確保等、地域の持続可能な交通体系を確保 - 利用者登録及び予約簡素化のためのLINEの活用と、クレジットカード等による非接触決済サービスの導入 - 地域の民間事業者の協力による利用促進（割引クーポンの発行や電子地域ポイントとの連携） - スマートフォン教室を兼ねたネット予約体験会や乗車体験会の開催 自宅近くの22番停留所から、9時半までに病院に行きたいわ 9時頃に15番停留所から、公園まで行きたい 帰りは病院近くのスーパーから自宅に帰りたいわ。時間は午後の空いている時間に。 ネット又は電話 （電話の場合は、コールセンターでシステム入力） 乗合交通のため、複数の利用者の予約をAIを活用した配車予約システムで、最適なルート进行計算します。システムが設定するルートは、車載端末に瞬時に送られ、利用者を目的地までお送りします。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①デマンド型乗合交通の利用者数 ②インターネットを用いた予約率 【アウトカム指標（成果指標）】 ①運転免許証の返納者数 ②AIデマンド型乗合交通サービスの満足度				

事業概要【AIデマンドバス導入事業】

自治体名	奈良県天理市	人口	61,374人	事業費	24,647千円
事業概要	本市では、鉄道・路線バスとそれらを補完するコミュニティバス及びデマンドタクシーにより交通ネットワークを形成している。しかし、現在のコミュニティバス及びデマンドタクシーでは、運行本数の少なさ、目的地までの所要時間、前日までの予約等の課題があり、現状の交通サービスで住民の移動手段を十分確保するのは困難な状況である。今後の高齢化の進展や免許返納の増加が予想される中、AIを活用した効率的な交通サービス「チョイソコ」を官民連携により導入することで、将来にわたり、より便利で持続可能な住民の移動手段の確保を図る。				
具体サービス	【AIデマンド交通サービス】 ・会員登録された利用者からの乗車依頼を受付し、AIにより最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗合で利用者を送迎するサービス。 ・インターネット及びコールセンターへの電話で乗車の予約を行う。コミュニケーションに優れたオペレーションにより、安心できる運行を提供する。 ・利用したい時間の最短30分前までに乗車予約が可能。利用者のお出かけの時間に合わせた移動サービスを提供する。 ・利用者には定期的に地域の催事など、お出かけしたくなる様々な情報を発信することで外出機会を創出し、特に高齢の利用者の健康増進・健康寿命の延伸を図る。 ※「チョイソコ」とは 地域の交通不便を解消し、主に高齢者の外出促進に貢献するオンデマンド交通。（固定路線無し・時刻表なし・予約型）				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AIデマンドバスの利用者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者の満足度				



【「チョイソコてんり」実証実験の実施】

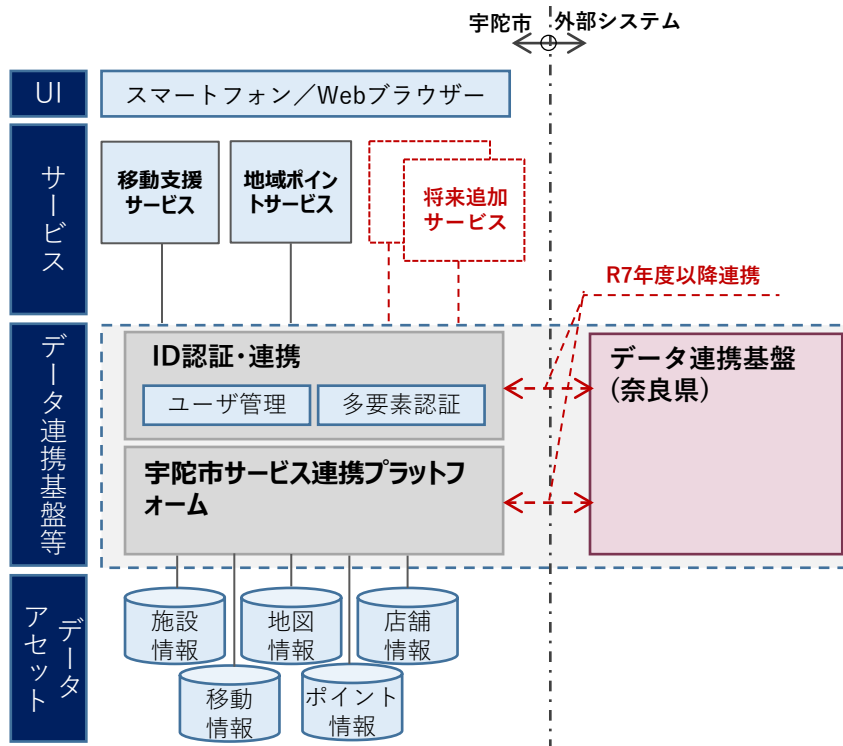
「チョイソコてんり」の利便性等を検証するため令和5年12月に実証実験を実施した。

実証実験では前年同月のデマンドタクシーの利用者数と比較して393人増となる866人の利用があった。

また、利用者へのアンケート調査では、便利な交通サービスでありまた乗りたと思う、本格運行を希望するとの意見が約9割を占める結果となった。

事業概要【宇陀市サービス連携プラットフォーム事業】

自治体名	奈良県宇陀市	人口	27,388人	事業費	29,634千円
事業概要	宇陀市では、人口減少が進み公共サービスの提供等が困難になることが想定され、さらなる人口減少を招く恐れがあります。このような状況を打破するために、デジタル化を推進し、住民の生活利便性を向上させるとともに、 <u>まちづくりに必要なデータ</u> を入手し、 <u>最適な政策を検討することができるプラットフォーム</u> として「 宇陀市サービス連携プラットフォーム 」を実装します。R6年度は、特に市民ニーズが高い通院時の交通予約をオンラインで可能とし同時に地域ポイントを付与し、住民サービスの充実を図ります。				
具体サービス	R6年度は、「宇陀市サービス連携プラットフォーム」の内、「移動支援サービス」及び「地域ポイントサービス」として提供します。 【移動支援サービス】 - 市立病院等の診療後に次回予約確定時に移動の予約をタブレットで行うオンライン予約サービスを提供 - オンライン予約時に利用者に移動に対するインセンティブとして地域ポイントを付与する 【地域ポイントサービス】 - 移動支援等で付与された地域ポイントを利用する利用者用のサービス - 地域ポイントを移動ニーズの創出に活用する地域ポイントをPAYPAYポイントに交換する機能を備える 本事業は、奈良県が構築するデータ連携基盤に連携し、各種サービスやキャッシュレス決済機能を追加する前提でサービス構築を行います。また、「地域ポイントサービス」はモデル仕様書(地域通貨・ポイント)を活用し発注を行い、将来的にはソーシャルログインに対応する予定です。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①移動予約件数（移動支援サービス） ②サービス利用登録者数（移動支援サービス） ③地域ポイントをPAYPAYポイントへ変換した利用者割合（地域ポイントサービス）		【アウトカム指標（成果指標）】 ①外出することの容易さに関する市民の満足度（移動支援サービス） ②地域ポイントサービス利用者の満足度(地域ポイントサービスのKPI) ③利用者の免許返納数		



事業概要【AIオンデマンド交通運行事業】

自治体名	和歌山県紀の川市	人口	59,591人 (R5.11.30現在)	事業費	62,455千円
事業概要	運行便数の少なさやバス停までの距離などの利便性の課題があり利用者が減少しているコミュニティバス「地域巡回バス」について、需要に応じた柔軟な運行の実現のため、AIを活用したデマンド型区域運行サービスへの転換を図る。地域内の移動利便性や鉄道・路線バス等への接続を向上させることで、地域の高齢化や交通弱者の増加が進む中でも、地域公共交通でおでかけしやすいまちとなることを目指す。				
具体サービス	【AIオンデマンド交通の概要】 ・利用者は電話およびアプリ等により予約を行う。 ・予約をすることで、運行時間内の任意の時間に利用が可能。 ・区域内に細かく設定した指定乗降地点の中で、利用者の希望する区間を運行する。 ・AIの活用により、予約状況に応じて効率的なルート選択、配車指示を行い、複数人の乗合を実現させる。 ・上記により、運行便数の少なさやバス停までの距離などの利便性の課題を改善することで、利用者の満足度向上を図る。 ・鉄道、路線バス等の幹線軸との組み合わせにより、地域をまたぐ移動利便性の向上を図る。 ・令和6年度は一部地域で先行的に運行を開始し、令和7年度以降に運行地域を拡大する予定。 図. デマンド型区域運行サービスのイメージ				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AIオンデマンド交通会員登録者数 ②AIオンデマンド交通利用者数 ③アプリ予約割合 【アウトカム指標（成果指標）】 ①AIオンデマンド交通利用者の満足度				

事業概要【災害時も活用できる次世代インフラ構築事業】

自治体名	和歌山県日高川町	人口	9,225人	事業費	20,000千円
事業概要	日高川町は、山間部が多く災害発生時に土砂災害等によって道路の寸断・集落の孤立が想定される地域が点在している。また、高齢化の進行が顕著であり、地域住民の見守りの課題もある。そこで、新スマート物流SkyHubにおいて、配送での住民との接点を有効活用した住民ヒアリング、ドローン配送を有効活用した災害時輸送ルートの設定、などを実施し、平時の住民ケアと災害時の住民ケアを両立し、安心して暮らし続けられる街を実現する。				
具体サービス	【新スマート物流SkyHubに付加するサービス】 - 見守りサービス これまで想定していた配送時の簡易的な様子のチェックのみならず、整理した項目（顔色/声のトーン/ポストたまってないか/自宅整理されているかetc.）をチェックし、SkyHubTMSへの情報入力を実施。また、災害時に活用する情報として、服薬やアレルギー情報等のアンケートも実施し、SkyHubTMSへ情報蓄積。 【配送管理システム SkyHubTMS】 - 情報共有&住民ケア 配送員が入力した見守り情報を役場・区長・民生委員等も確認できるように改修。→役場等から再訪問 【災害対応も可能なインフラ整備】 - 災害時用ドローン物資輸送ルート設計 避難所を中心に座標取りを実施(災害時着陸地点まで行くことが困難)。デポから飛行可能な地点へは平時よりサービス利用にドローンを活用(フェーズフリー)。  ★：災害時着陸ポイント(平時ルート飛行) ★：災害時着陸ポイント(座標取りのみ)  配達、住民の状況確認 TMS記入、関係者確認 訪問&確認				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①ルート開通本数（災害時／平時 両用） ②見守りサービス対応件数 ③ドローン配送サービス運航日数（2023年度申請からの上乗せ） 【アウトカム指標（成果指標）】 ①災害用のドローンルート開拓の満足度 ②見守りサービスの満足度				

事業概要【AIオンデマンド乗合交通運行事業】

自治体名	鳥取県鳥取市	人口	181,398人	事業費	30,228千円
事業概要	タクシー運転手が不足する中、AIを活用した予約型の相乗り型交通を運行することで、効率性と利便性を高めて住民の移動ニーズを満たすとともに、路線バスやカーシェアリングなどの情報を一元化することで移動手段が選べる環境を整える。また、配車アプリ上に協賛店舗の情報や割引特典を載せることで、市民の外出意欲を高め、地域経済の活性化など、まちを元気にする交通システムの構築をめざす。				
具体サービス	【AIオンデマンド配車サービス】 - 少ない車両・運転手で住民のニーズに合った輸送サービスを提供できるよう、AIを活用した配車・ルート設定システムを導入 (路線バスやカーシェアリングなど他の移動手段に関する情報も一元化して移動を選択できるアプリへの改修・導入を図る。) 【乗合交通と協賛企業の情報発信アプリ】 - 乗合交通の乗降地点や走行位置等を示すマップ上に協賛企業等イベントや店舗情報をプロットするとともにプッシュ型の情報提供が可能なアプリを導入				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 - 乗合交通（公共交通）利用者 - 協賛企業の数 【アウトカム指標（成果指標）】 - 乗合交通（公共交通）の満足度 - 協賛企業の満足度				

事業概要【マルチタスク車両による遠隔診療と遠隔役場】

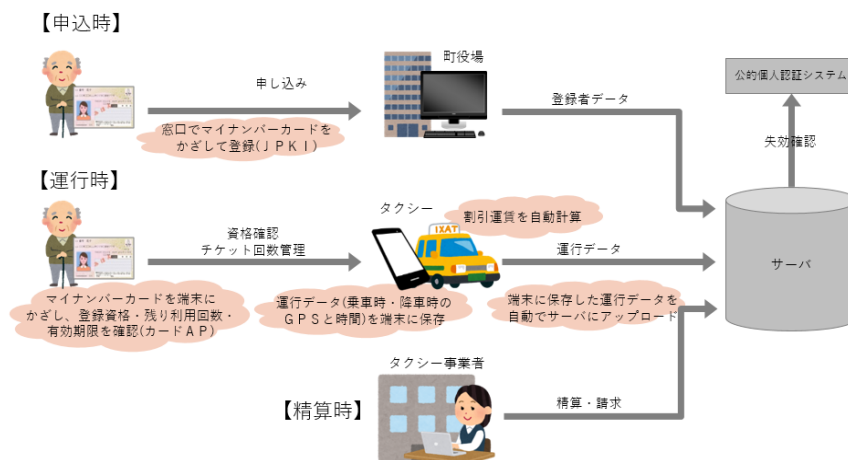
自治体名	鳥取県江府町、全域	人口	2,509人	事業費	26,802千円
事業概要	本町は積雪が多い地域であり、数本の谷筋に集落が分散している。また、高齢化も厳しく集落間の移動が困難である。オンラインによる遠隔相談や証明書発行機能を搭載したマルチタスク車両を導入し、住民が自宅にいながら遠隔診療や出張行政サービスを受けられる環境を整備する。積雪や高齢による移動困難といった住民の課題解決を目指すことにより、だれ一人取り残さない地域を実現する。				
具体サービス	・マルチタスクで利用可能な特殊車両内にオンライン会議システムを構築し、役場や診療所と遠隔で窓口相談を実施することで、移動手段の確保等が困難であったり、自宅で気軽に行政サービス等を受けたい住民の利便性を向上。 ・マルチタスク車両内にインターネット環境を構築し窓口業務を車両内で実施。（山間部でインターネット環境が弱いため、衛星インターネット通信を活用） ・住民（主に高齢者）とのやりとりをスムーズにするため、音声字幕システムを導入。住民、職員ともにストレスの少ないコミュニケーション環境を用意する。 ・災害対策時は、現地本部として運用。町役場の対策本部とオンライン会議システムを利用して情報共有を実施。 				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①でかける役場の稼働数（件数） ②稼働数のうち、現場で解決できた割合（％） 【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者アンケートによるサービス満足度（％） ②利用者アンケートによる困りごと改善度（％）				

事業概要【新見市公共交通DX導入事業】

自治体名	岡山県新見市	人口	26,698人	事業費	9,500千円
事業概要	免許を持たない高齢者や学生などにとって、通院や通学、買い物等の日常生活を送るうえで公共交通は必要不可欠なことから予約型乗合タクシーを導入している。しかし、現状はアナログな手法で運用しており、予約時間や方法が限定されていることが利用者に不便をきたしている。また、運転手不足などにより業務効率化をしなければ維持が難しいため、AIを活用したデマンド交通システムを構築する事で、持続的な生活交通の確保・充実を図る。				
具体サービス	【予約型乗合タクシー配車システム】 予約に応じて運行するデマンド型の乗合タクシーを配車するシステム。利用希望者の予約情報を分析し、予約時間が近く、同じ方向に向かう利用希望者を、乗り合いによって同時に乗車出来るように適切なルートを設定し、運転手に伝達するもの。 【デマンド型乗合タクシー運行業務】 配車システムから伝達された目的地に従い、利用者の輸送をおこなう。利用者の乗降時に配車システムの操作をおこなう。 ①予約 ・利用者が電話で予約 ②配車 ・オペレーターが運行ルート、車両の運行状況等を確認して車両に連絡 乗合タクシー システム導入後 ①予約 ・利用者が電話またはWebシステムで予約 ②配車 ・電話予約の場合はオペレーターがシステム入力。 ・「AI」が運行ルート、運行状況等を計算して、自動で車両に連絡。 AI 乗合タクシー				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①乗合タクシーの年間利用者数 ②アプリ・ウェブ予約での利用者数 ③ 【アウトカム指標（成果指標）】 ①乗合タクシーの満足度 ② ③				

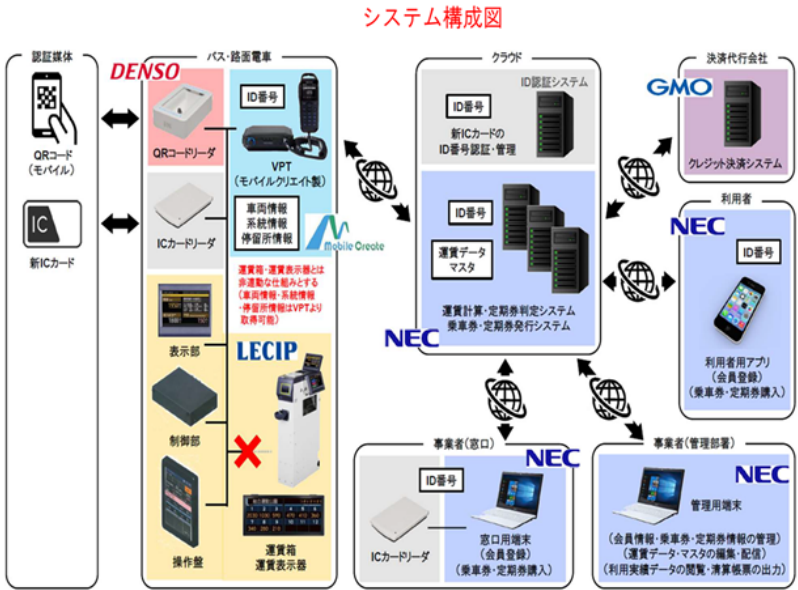
事業概要【定額タクシー事業】

自治体名	岡山県矢掛町	人口	13,270人	事業費	28,011千円
事業概要	現在、移動困難者の方が、福祉タクシー券を提示することで、運賃の一部を助成する事業に取り組んでいるが、居住地によっては数回の移動で福祉タクシー券がなくなるという方もいる。また、福祉タクシー券の発行、実績の入力・確認作業などの膨大な事務負担がタクシー事業者及び本町職員に発生している。これらの課題を解決するために、町内移動については一律の金額で移動することができるようにし、町民の外出機会の創出を図るとともに、タクシー事業者及び本町職員の事務作業の効率化を目的としたマイナンバーカードを活用したシステムを実装する。				
具体サービス	群馬県前橋市で運用されているマイナンバーカードを活用したマイタクサービスを活用した実装の取組 【マイナンバーカードを活用した福祉型デマンドタクシーの運賃助成補助システム】 ・利用登録システム(Igwan-asp) ・端末システム(スマートフォン端末アプリ) ・精算システム(パソコンアプリ)				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①システムの利用登録者数 ②マイナンバーカードを用いたタクシーの利用回数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者満足度		



事業概要【新乗車券システムの導入】

自治体名	広島県呉市	人口	205,747人	事業費	199,281千円
事業概要	呉市内の路線バス・生活バスにおいては、約9割の利用者がICカードによる決済システム（PASPY（広島県内のバス事業者等の多くが導入しているシステム））を利用しているが、令和7年3月にPASPYが廃止される。 後継のシステムとして広島電鉄(株)等が開発する新乗車券システムを導入することで、利便性の維持・向上を図り、地域交通の持続可能性を高める。				
具体サービス	【新たなキャッシュレス決済の導入】 【残高チャージ、定期券購入の利便性向上】 ・車載器の設置 広島電鉄(株):90台、生活バス:56台				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①新乗車券システム利用率 【アウトカム指標（成果指標）】 ①市民一人当たりの年間バス利用回数 ②サービス利用者の満足度				



事業概要【地域公共交通DX化事業】

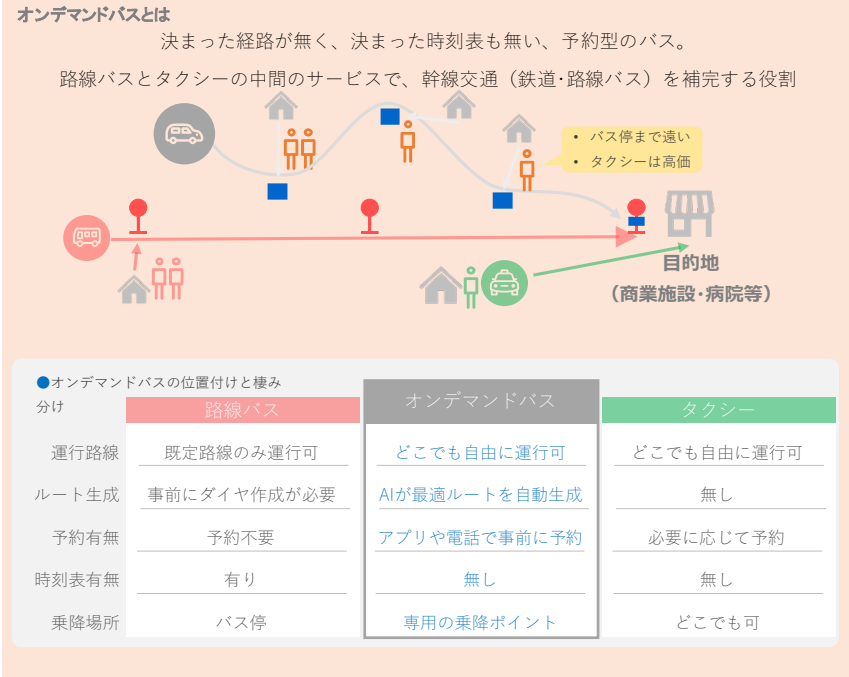
自治体名	香川県坂出市	人口	48,749人	事業費	9,069千円
事業概要	超高齢社会への対応や、コンパクトシティの推進にあたって、地域公共交通が果たす役割はますます大きくなっている中で、市民や来訪者に分かりやすい情報発信が必要となっている。 そこで、路線バスのリアルタイムな発車情報を提示でき、オンライン上で表示内容の修正や運休等の情報をリアルタイムに発信できるデジタルサイネージ「スマートバス停」を導入する。				
具体サービス	【スマートバス停による情報発信の強化】 - 路線バスのリアルタイムな発車情報を分かりやすく提示できるサイネージ「スマートバス停」を導入する。(利用者に分かりやすい情報発信) - 時刻表改正や、荒天時の運休等のお知らせにオンラインで対応が可能(人員不足のバス会社職員の負担軽減と情報発信の速達性) - 地域のイベント情報等のお知らせの発信や広告の掲出がオンラインで可能(施策間連携の強化や広告掲出による収益で持続可能性を向上)		 スマートバス停で実現できること ① 利用者への利便性の向上、公共交通機関利用促進 - GTFS-JPデータを活用した先発情報の発信 - スマートフォン等を持たない高齢者や子供にも交通情報が分かり易く、利用しやすい環境を提供 - 異なる交通モード情報を掲載 (ダイヤ改正や迂回・運行情報も随時配信可能) 【小倉駅バスセンター】バスと駅直結の路線を完全表示 ※相互の乗り換え向上・円滑化へ ※乗降との連携事例は次ページ参照 ② デジタルの訴求力を活かした情報提供・注意喚起 - 自治体情報を分かりやすく発信 - 拠点となる駅から全ての方にデジタルで情報伝達 - まちのにぎわいや回遊性の向上へ貢献		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①お知らせ・広告スペースの掲出件数 ②運休等情報の更新された件数 ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①サービスの満足度 ②バス待ち環境の満足度 ③		

事業概要 【AIオンデマンドバス運行サービス事業】

自治体名	高知県黒潮町	人口	10,152人	事業費	23,552千円
事業概要	利用者が少ないことから、一部の時間帯で町の中心部の地区も対象として運行することを検討しており、その際には効率的なルートを出算できるシステムの導入になってくるものと考えています。 システムを導入することによって得られる詳細なデータを基に分析を行い運行の改善やエリアの拡大（枝線の再編）に繋がりたいと考えています。				
具体サービス	■ AIオンデマンドバスの運用イメージ(例) この図は、AIオンデマンドバスの運用イメージを示しています。利用者は電話予約、インターネット予約、または代行入力を介してAI配車システムと接続します。AI配車システムは運行状況を監視し、最適な時刻とルートを選択し、運転手に指示をします。運転手はAIからの指示に従って効率的にバスを運行し、サービスを提供（輸送）します。技術的にはアプリのみでの運用が可能ですが、デジタルデバイスに配慮し、コールセンターを設置することが一般的です。 【運用イメージ(例)】 - 予約は電話、インターネット(アプリ)で受付できます。 - インターネットでは24時間365日受付ができます。 - 乗車時間の30分前まで受付・変更が可能です。 - 運行状況がスマホで確認できます。 アプリをインストールいただくことで、出張者・旅行者にも利用していただくことが可能となり、来町者の利便性も格段に向上します。 仕組み この図は、AIオンデマンドバスの仕組みを示しています。利用者が希望する時刻とルートを入力すると、AIが自動的に最適な時刻とルートを選択し、運転手に指示をします。運転手はAIからの指示に従って効率的にバスを運行し、サービスを提供（輸送）します。 9:20発で伊田から土佐入野駅まで行きたい 自動応答 9:30発であれば可能です 利用者の要望に合わせ、AIが自動で最適な時刻・ルートを決めます 希望時間に既に予約が入っている場合 - 前後で可能な時間を提案します 既に予約済のルート上を通る場合 - 相乗りを提案します				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①サービス利用者数 ② ③ 【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者満足度 ② ③				

事業概要【オンデマンドタクシー（のるーと小郡）運行事業】

自治体名	福岡県小郡市	人口	59,562人	事業費	44,444千円
事業概要	コミュニティバスは、路線定期運行型交通であり、運行ルート of 冗長化による運行効率の低下が課題となっていた。そのような状況の中、少子高齢化や人口減少社会に対応し、公共交通としての維持・活性化を図るため、路線定期型交通の路線バスよりも本市の現状にあった新たな公共交通手段として、AIを活用したデマンド型タクシーの本格運行を実施する。				
具体サービス	従来のバスのように時刻表や決まったルートがなく、AI（人工知能）が予約の状況に応じて運行ルートを考えながら走行する予約制の乗り合いタクシー。 多くの利用者に乗せるために途中で寄り道をしながら、リアルタイムに運行ルートを生成する。 1台の定員は最大8名で、予約をした方のみが利用できる。 【のるーとシステム（特徴）】 - リアルタイム予約 - 距離別運賃 - ドアtoドア型				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①オンデマンドタクシーの利用者数 ②予約アプリからの予約件数 ③アプリ登録者数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①利用者満足度 ②自動車運転免許証の返納者数				



事業概要【スマートバス停導入事業】

自治体名	福岡県古賀市	人口	59,258人	事業費	14,402千円
事業概要	西鉄バス古賀市内線の主要バス停中、利用の多いバス停3か所（古賀駅西口、福岡東医療センター、千鳥駅設置分）をスマートバス停化する事業。古賀市地域公共交通網形成計画において、駅や主要停留所における待合環境や案内誘導の整備を行うことを位置付けており、公共交通を利用するきっかけづくり、乗り換えの案内誘導等利用者の利便性向上を実現する。				
具体サービス	【スマートバス停】 - 液晶ディスプレイを採用したデジタルバス停標柱（商用電源100V）。携帯電話網を使用してクラウドからデータを取得（有線LAN工事不要） - 当日の時刻表を大きく、その他の曜日の時刻表は小さく表示するなど当日の時刻表がわかりやすい。また、当日の当該時間帯を拡大文字で表示するため高齢者にとってわかりやすい時刻表表示が可能 - リアルタイムでバスの接近状況がわかるバスナビ情報を表示可能 - 多言語表示が可能であるため、外国人旅行者への利便性が向上 - 災害等による運休情報、行政情報等のお知らせ表示も可能		 路線図・バス接近情報 当日の時刻表 (当該時間拡大表示) 行政情報等 お知らせ表示		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①スマートバス停からの情報発信件数 ② ③		【アウトカム指標（成果指標）】 ①スマートバス停の満足度 ②電話等対応時間の短縮 ③整備済みバス停からの乗車人数増加率		

事業概要【AI活用型オンデマンド交通運行事業】

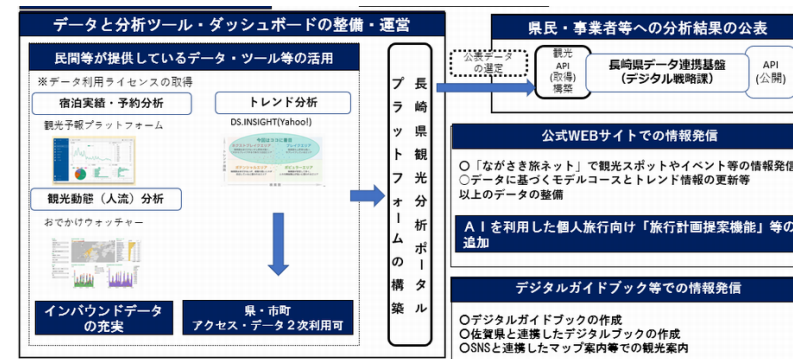
自治体名	福岡県鞍手町	人口	15,021人	事業費	48,951千円
事業概要	本町では、予約型乗合タクシー「もやいタクシー」を3路線で運行しているが、利用する1時間前までの予約が必要であり、通院帰りなど利用する時間帯が見込めない場合の予約が不便である。近年の高齢化の進展に伴い、公共交通に依存せざるを得ない高齢者等から利便性向上に対する要望が増えている中、AIを活用したリアルタイム予約が可能となる新たなサービスを導入することにより、利用者の利便性や効率性の向上を図る。				
具体サービス	【AI活用型オンデマンド交通(以下、ODK)の導入】 - 乗降地点から乗降地点までを運行 - 複数の乗客が利用する「乗合運行」 - 利用の初回は利用登録が必要（アプリ・電話） - 利用者はアプリまたは電話で乗車予約をする - AIが予約状況に応じてリアルタイムに最適な配車と運行ルートを決定 - 複数予約に合わせた時間とルートで柔軟に運行 ◆サービス概要図 <pre>graph LR subgraph Users direction TB U1[利用者 スマートフォン] U2[利用者 電話] end subgraph Methods direction TB M1[予約方法 運行アプリ] M2[予約方法 コールセンター] end subgraph Cloud direction TB C[クラウド 運行管理システム ・登録者管理 ・配車手配 ・決済処理 ・データ蓄積] end subgraph Execution direction TB E1[運行実施 専用車両 ODK] E2[タブレット ・ルート選定 ・本人確認 ・決済実施] end U1 -- 予約 --> M1 U2 -- 予約 --> M2 M1 -- 乗車希望 --> C M2 -- 乗車希望 --> C C -- 配車情報 --> M1 C -- 配車情報 --> M2 C -- 配車指示 --> E1 E2 -- 設置 --> E1</pre>				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①ODK登録者累計数 ②ODK1日平均利用者数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①ODKの利用者満足度の向上 ②運転免許返納者数の増加		

事業概要【A I 活用型デマンド交通導入事業】

自治体名	佐賀県□玄海町	人口	4,977人	事業費	28,318千円
事業概要	現在、町内で運行中のコミュニティバス（定時定路線型）の問題点（ダイヤの数が少ない、乗車時間が長い、停留所が遠いなど）を解決すべく、A I 活用型オンデマンド交通システムによる交通手段へ転換することを前提とし、住民にとってより利便性の高い公共交通を提供することで誰もが公共交通を利用しやすいまちの実現を目指し、A I システムを活用したデマンド交通のプレ運行を踏まえ適宜見直しながら本格運行を開始する事業				
具体サービス	【A I 活用型オンデマンド交通システム】 - 町内の移動について、利用者からの予約をもとに、効率的な乗合によるルートを生A I が自動で生成 - A I によるルート生成とともに、車両の到着予定時刻を、即座に利用者に知らせる利用案内が可能になる - 利用予約の手段について、電話だけではなく、アプリ・WEB・LINEなどインターネットで24時間いつでもどこでも予約が可能になる - システム導入後も、AIが予測した時間と実績時間の蓄積をシステムが自動学習し、より正確な予測での利用者案内が可能となる				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①AI活用型デマンド交通の利用会員登録者数 ②AI活用型デマンド交通の利用者数 ③電話以外（予約専用アプリ等）での予約割合		【アウトカム指標（成果指標）】 ①AI活用型デマンド交通に対する利用者満足度		

事業概要【観光DX事業】

自治体名	長崎県	人口	1,265,037人	事業費	43,637千円
事業概要	本県においては、企画立案に必要なタイムリーな分析データやマーケティング分析環境が不十分で、これまでの経験値や旅行会社・観光関連事業者との関係性により事業を展開している。新型コロナウイルス感染症をきっかけに観光客のニーズは多様化し、個人の嗜好や参加形態（一人旅、家族旅行等）にあった観光の提供がこれまで以上に求められ、これに対応するためには、データを活用した客観的でタイムリーな分析による事業を展開する必要がある。そこで、データを活用したマーケティングや、AIを利用した情報発信等を、県内市町や観光関連に限らず、多種多様な事業者等と連携して実施することにより、産学官が連携したデータ分析、事業の展開、効果検証を展開するコンソーシアムが構築され、効果的な施策の展開が、本県への誘客（リピーター獲得）を促進し、地域の経済活性化（観光消費額の増加）が図られる。さらに、地域の飲食店等のキャッシュレス化やデジタル案内・検索等をすすめ、地域の事業者のデジタル化と観光客等の利便性・満足度の向上を図り、デジタルスマートシティ化に寄与する。				
具体サービス	【データ連携プラットフォームの構築】 ○インバウンドの宿泊予約・人流データ等 ⇒宿泊動向やマーケティング分析等を関係者に提供 【情報発信】 ○公式WEBサイトのデータ整備 ○AIを利用した個人旅行向け旅行計画案内機能の構築 ⇒誘客促進と動向データの収集（マーケティングに活用） 【情報発信（デジタルガイドブック等）】 ○デジタルパンフレット・ガイドブックの作成 ○SNSと連携したマップ案内によるデジタル観光案内の提供				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①宿泊を伴う周遊コースの設定数（単位：コース） ②公式WEBサイトへのスポット等情報件数(単位：件) ③観光スポット・宿泊・飲食店登録者数（単位：箇所） 【アウトカム指標（成果指標）】 ①平均宿泊日数（単位：日） ②公式WEBサイトの閲覧数(単位：千PV) ③情報発信等による満足度（単位：％）				



事業概要 【みまたMaaS「くいまーる」サービス拡充事業】

自治体名	宮崎県三股町	人口	25,433人	事業費	15,055千円
事業概要	公共交通の利用率を高め、「元気あふれるまち 三股」を支える移動の基盤となる地域公共交通の実現を図るために、町運営のコミュニティバス「くいまーる」にバスロケーションシステム及びオンデマンド交通システムを導入する。それにより、利用者満足度の向上を図るとともに、利用したことのない町民等が「使ってみたくなる」サービスを実現し、利用者拡大を図る。あわせて、システム導入により随時得られる利用者データや路線別運行状況、利用者ニーズ等を蓄積し、EBPMによる施策立案や継続的なサービス向上につなげる。				
具体サービス	【バスロケーションシステムの導入】 - 町が運営する「くいまーる」における内ノ木場・梶山コース（R6以降にデマンド化検討路線）を除く5路線（まちなか①、まちなか②、田上・蓼池、宮村・植木、長田・梶山）へのバスロケーションシステムをR6より本格導入する。町公式LINE等での予約等に関しても利用者サービスから導入を検討しており、R7以降順次導入を検討する予定。 【オンデマンド交通システムの導入】 - R6後半に現「くいまーる」の内ノ木場・梶山コースへのオンデマンド交通システムの本格導入に向けた実証実験をR6前半から実証実験を実施する。 - オンデマンド交通は、AIによるフルデマンドもしくは、定時定路線型セミデマンドを検討しており、地域等との協議に基づき導入方式は検討する。 地域交通のDX化 データ基盤の構築 EBPM 施策立案 継続的なサービス向上 バスロケーションシステム (市街地部「くいまーる」に導入予定) オンデマンド交通システム (郊外部「くいまーる」に導入予定) 公共交通データ蓄積・活用 (三股町役場にて施策立案等に活用) 町民のQoL向上に寄与 (継続的なサービス水準等の見直し) 利用者数・利用者属性 運転手、AIカメラによる利用者カウント等 路線別の運行状況 路線別混雑状況(遅延、事故等の即時情報) 利用者ニーズ 年1回以上、利用者アンケートを実施 公共交通の状況を蓄積し、見える化 交通計画(R4策定) 町民に納得のいく客観データによる課題の分析 サービス水準向上に向けた施策立案 町民QoLの向上 町民ニーズに沿った運行実現 財政上効率的な運行の実現 誰でも利用可能な公共交通の実現 宮崎県MaaS等との連携 (路線バスや他地域との連携/My route等) 町内他事業との連携 (健康マイレージ事業、町中心部の拠点形成) 移動サービス向上の好循環				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① くいまーるの年間利用者数 ※交通計画に位置づけ ② デマンド交通や地域住民主体の新たな交通システム等の導入件数 ※交通計画に位置づけ ③ システムの利用者数（バスロケ、オンデマンド） 【アウトカム指標（成果指標）】 ① くいまーるの収支（率） ※交通計画に位置づけ ② 利用者満足度(くいまーる、オンデマンド)				

事業概要【出水市 A I オンデマンド交通運行事業】

自治体名	鹿児島県出水市	人口	51,846人	事業費	12,776千円
事業概要	コミュニティバス（出水ふれあいバス）の再編によって生じる新たな交通空白地域に A I オンデマンド交通を導入し、「線」と「面」の交通モードを組み合わせた交通体系を構築 することで、公共交通の維持確保と市民の移動に係る利便性の向上を両立し、持続可能な公共交通を実現する。				
具体サービス	< A I オンデマンド交通（チョイソコいずみ） > - 株式会社アイシンが提供する A I を活用した経路検索・配車システムを搭載したオンデマンド交通（チョイソコいずみ）を、交通空白地域（高尾野・野田地域）に導入する。 - 対象エリア内に約 2 4 0 か所の停留所を設け、予約に応じて運行するオンデマンド方式（区域運行）を採用し、時刻表や運行経路に縛られない柔軟な交通サービスを提供する。 - また、エリア内のスーパーや病院等の施設から協賛金（スポンサー）を募り、スポンサーを停留所に指定することで、多様な地域主体との協力体制を構築し、公共交通の維持確保及び利便性の向上を図る。		出水市AIオンデマンド交通運行事業のスキーム <pre>graph TD City[出水市] <--> 連携・事業改善 Assoc[出水市地域公共交通活性化協議会] City -- 業務委託 --> Op[運営事業] Assoc -- 業務委託 --> Op Op -- 配車指示 --> Run[運行事業] Run -- 輸送サービス提供 ※予約状況に応じて乗り合いで運行 --> Citizens[市民（利用者）] Citizens -- 予約 --> Run Citizens -- 予約 --> AI[AIが効率的な配車・運行経路を算出] AI -- 配車指示 --> Op AI <--> 予約センター（電話＋web） Op Op -- 協賛の申込・停留所の設置 --> Area[運行エリア内 民間企業・商業施設等] Area -- 協賛 --> Op</pre>		
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①チョイソコいずみの利用者数 ②チョイソコいずみの乗合率 ③ふれあいバスの 1 便当たりの利用者数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①公共交通の満足度 ②運転免許証の返納者数		